

2018年2月13日

資料4-1

第7回東京都地域がん登録事業運営委員会

議事(2) がん登録集計・報告書について

【資料4-2】 東京都のがん登録2013年報告書(案)参照

東京都がん登録の報告目標

診断年2012-2015

初回・2-4回目報告書

精度目標(**B基準**)

報告書発行遂行

診断後4-5年で
報告書発行

診断年2016-2021

5回目以降報告書

精度目標(**A基準**)

全国比較

地域間比較

年次推移

がん検診精度管理

地域がん登録(2012-2015)

診断後3-4年
で報告書発行

診断年2022-

11回目以降報告書

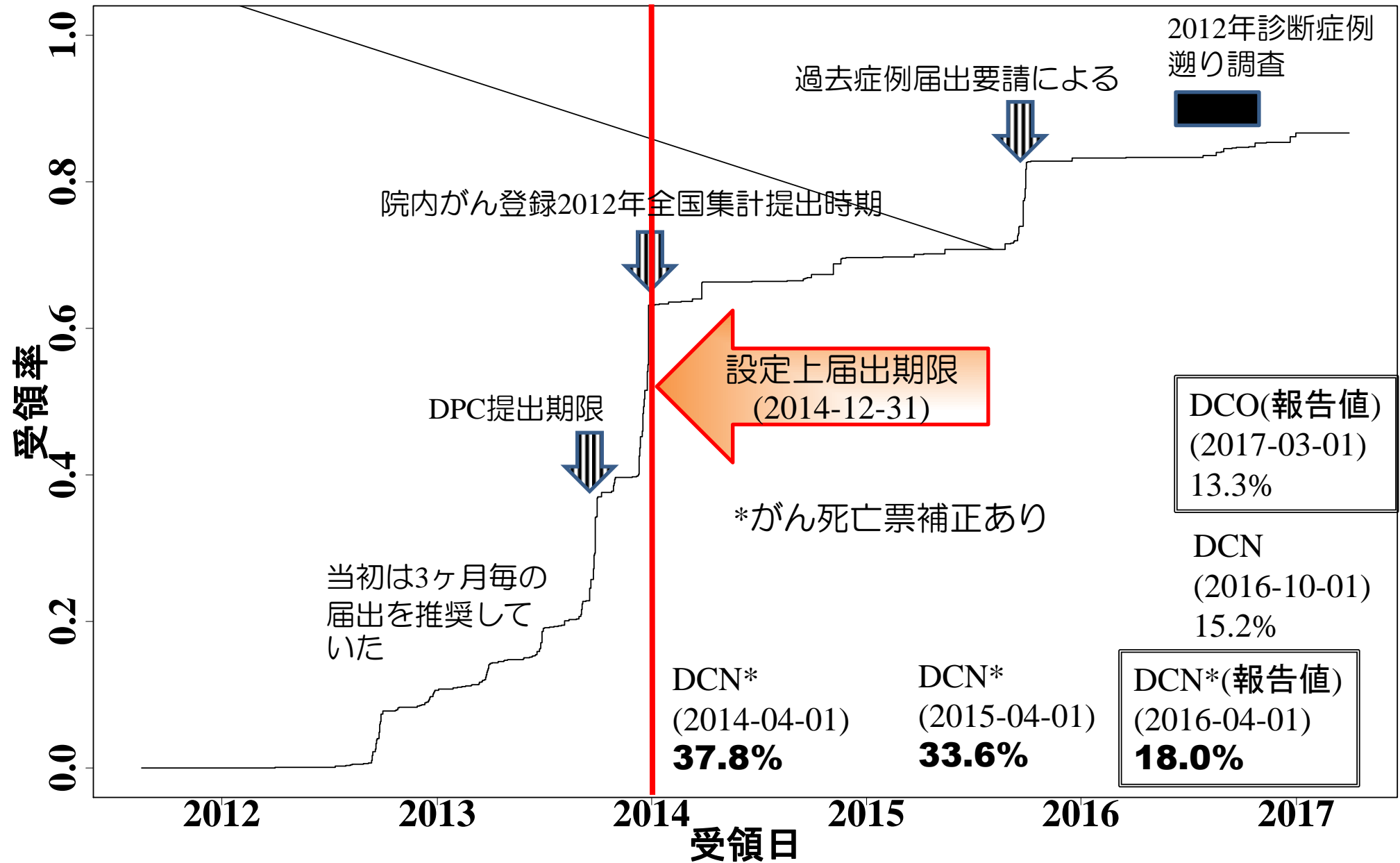
十本格的な生存時間
解析(2012-)

全国がん登録(2016-)

診断後2-3年
で報告書発行

- ① **事業開始以前の届出情報の不足**⇒過大評価の可能性
 - 📖 他施設診断症例が、初回診断年が事業開始以前の罹患である場合
 - 📖 DCN症例が事業開始以前の罹患である場合
- ② **他県医療機関受療**の情報の欠如⇒過大ないし過小評価
 - 📖 都内在住者で他県医療機関のみを受診した場合⇒過小評価
 - 📖 診断時他県在住者でその後都内に転居して亡くなった場合：DCN症例として把握され、東京都の罹患に繰り入れられる⇒過大評価
 - 📖 診断時他県在住者でその後都内に転居して初発時とは別の都内の医療機関を受診した場合、他施設診断症例として届出される⇒過大評価
- ③ **届出の悉皆性が不十分**⇒過小評価の可能性
 - 📖 DCN補完を行っても現在生存中のがん患者の分が不足
 - 📖 ある程度以上の届出があれば①②に比べればエラーレベルは小さい
- ④ **データ処理技術(特に照合集約手法)の影響**
 - 📖 2016年以降、地域がん登録データを都道府県DBに移行
 - 📖 全国照合が可能となり人口移動の多い東京都では精度向上の恩恵
 - 📖 実務者のがん登録知識や技量の影響が縮小(【資料3-3】⑤参照)
 - 📖 病院等における入力やデータ収集の標準化(主に院内がん登録で進行)

2012年診断症例の届出票受領率推移



当面の年次比較の限界について

📖 厳密な意味で年次比較が行える前提条件は、がん登録の精度が真の罹患数値に近い状態で推移していること

👉 例えば**精度基準A**かつ**DCO<5%レベル**で安定して推移している

📖 **過去照合**により年次毎に精度が改善見込

📖 **全国照合**による精度改善効果

👉 2014年診断分以降都道府県DB移行による副次効果で**全国照合**が部分的適用

👉 2016年診断分から**全国照合**が完全実施

📖 拠点系病院等の協力により**当初から精度基準Bを達成**

👉 精度基準Bであれば**地域間比較**は可能

👉 更に**精度差を吸収できる様な比較は可能**であり、各罹患年の割合、順位などの情報を年次比較することは可能(解釈は慎重に行うべき)

📝 精度指標の比較

📝 疾患割合・順位...

🗨️ 罹患数や年齢調整罹患率の年次推移比較は当面避けるべき

全国がんモニタリング集計について (Monitoring of Cancer Incidence in Japan: **MCIJ**)

✿ 1975年以降，厚生省(⇒厚労省)が補助する**研究事業**として実施されてきた地域がん登録データに関する検証

📖 がん登録の**精度管理**

📖 がん罹患の**全国推計値算出***・都道府県間比較

✎*: **A基準**を満たした場合のみ

✿ MCIJの公表時期

📖 -MCIJ2003：診断年6年後の3月

📖 MCIJ2004-MCIJ2009：診断年5年後の3月

📖 MCIJ2010-MCIJ2014：診断年4年後の3月

✎ 2013年12月がん登録推進法公布によって早まった

📖 MCIJ2015：診断年3.5年後(?)

📖 全国がん登録全国集計：診断年3年後(?)

東京都地域がん登録のMCIJ

MCIJ実施年	MCIJ 2012	MCIJ 2013	MCIJ 2014(予定)
発行年月	2016年3月	2017年3月	2018年3月
DB管理システム	東京都管理DB	東京都管理DB	全国がん登録システム都道府県DB
届出票期限	2015/12/31	2016/06/30	2017/07/31
遡り調査	(過去データ収集)	実施	実施
遡り調査期限	(-)	2016/12/31	2017/11/27
全国照合	非実施	非実施	一部実施
過去照合(2011年以前)	非実施	実施	実施
罹患数	88,201	85,025	82,705
年齢調整罹患率	398.7	376.2	358.9
MI比(IM比の逆数)	0.37	0.39	0.41
DCN	18.6	15.8	13.1
DCO	18.6	13.0	11.2
MV(%)	75.4	81.8	81.2

📖 MCIJは罹患数，年齢調整罹患率共に年々低下する結果となっているが，がん疫学的には人口の高齢化等の要因で上昇するはず⇒真の値を反映しているとは言えない
(がん疫学専門家の見解)

→東京都の場合MCIJデータを活用するのは時期尚早

📖 **精度指標**から見る限り，精度は年々改善傾向

📖 MI比の上昇，DCNやDCOの低下から見て，**過去照合**や**全国照合**の効果が高い

📖 MCIJ2013の精度向上は，2015年に**過去照合**結果が反映したことが寄与

📖 MCIJ2014の精度向上は，2016年から**全国がん登録システム**への移行が寄与(**全国照合**や**照合ロジック向上**)

👉この段階(2017-01-31)では完全な移行ではなく，未移行データも残存している

2012-13年診断報告書発行概要

	2012年報告書	2013年報告書
対象診断年	2012年	2013年
集計内容	罹患	罹患
発行年月	2017年7月	2018年3月末予定
届出票・遡り調査票収集期間	2012年7月-2017年2月	2013年1月-2017年12月
集計日	2017年3月1日	2018年1月1日
届出票件数	136,207	152,201
診断年翌年末迄に 受領した割合(%)	73.0%	82.5%
当年届出票件数に対する前年 以前診断届出票件数の比	1.75倍	2.45倍
死亡票件数	108,791	110,060
がん死亡票割合	32.6%	32.6%

2012-13年診断：病院種類

		2012年報告書	2013年報告書
届出票件数	拠点系病院	118,896 (87.7%)	133,824 (87.9%)
	その他の都内病院	14,469 (10.7%)	16,173 (10.6%)
	他県医療機関 都道府県数	2,162 (1.6%)	2,204 (1.4%)
病院数	拠点系病院	61 (35.0%)	62 (35.4%)
	その他の都内病院	87 (50.0%)	85 (48.6%)
	他県医療機関 道府県数	26 (14.9%)	28 (16.0%)

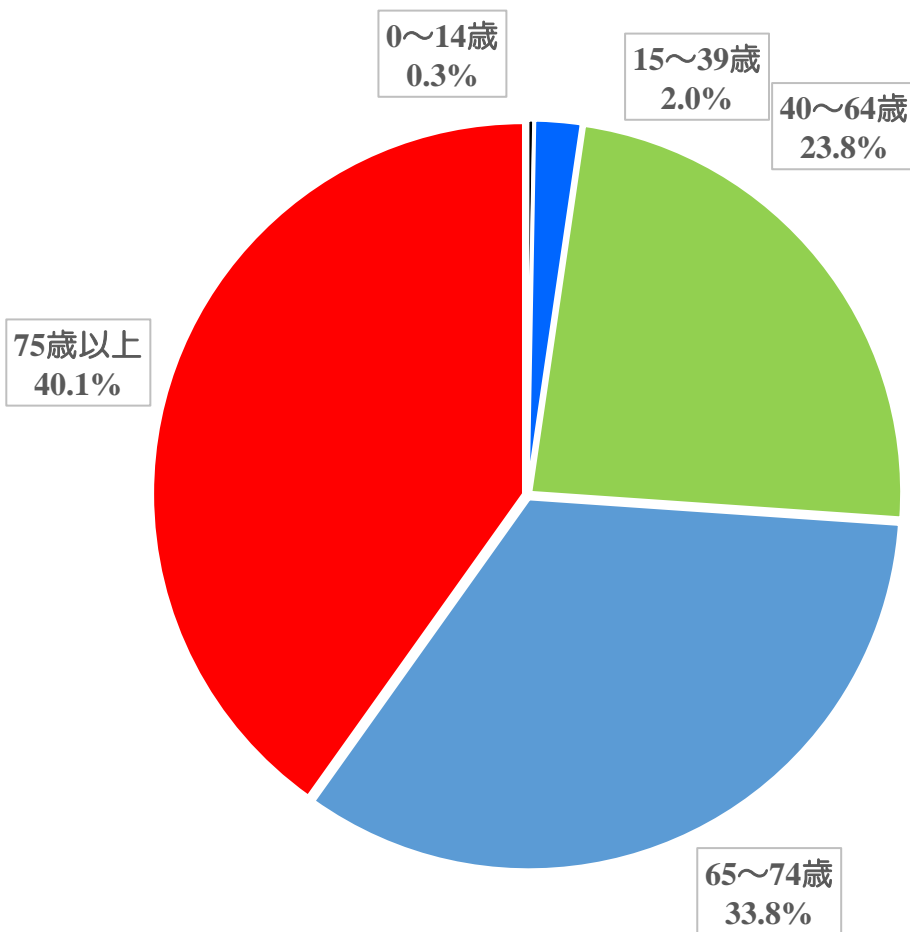
2012-13年診斷：罹患主要數值

	2012年報告書	2013年報告書
罹患數:男女計	84,820	85,988
罹患數:男	47,231	48,161
罹患數:女	37,589	37,827
年齡調整罹患率:男女計	388.0	385.6
年齡調整罹患率:男	456.9	456.3
年齡調整罹患率:女	342.7	338.8
IM比	2.3	2.3
DCN割合(%)	18.0	15.0
DCO割合(%)	13.3	13.7
HV比(%)	78.8	82.7
MV比(%)	75.5	81.8

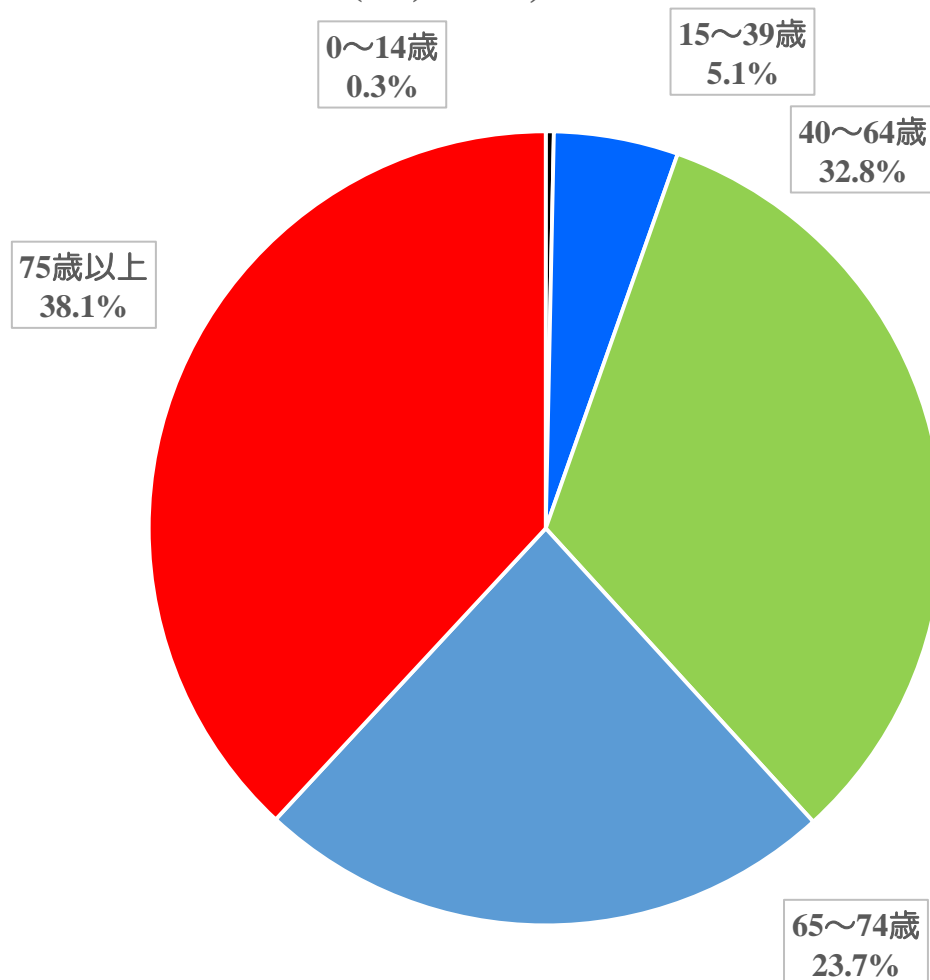
2013年診断性別年齢群別罹患割合

男性(%) 48,082件

女性(%) 37,819件



- 0~14歳
- 15~39歳
- 40~64歳
- 65~74歳
- 75歳以上

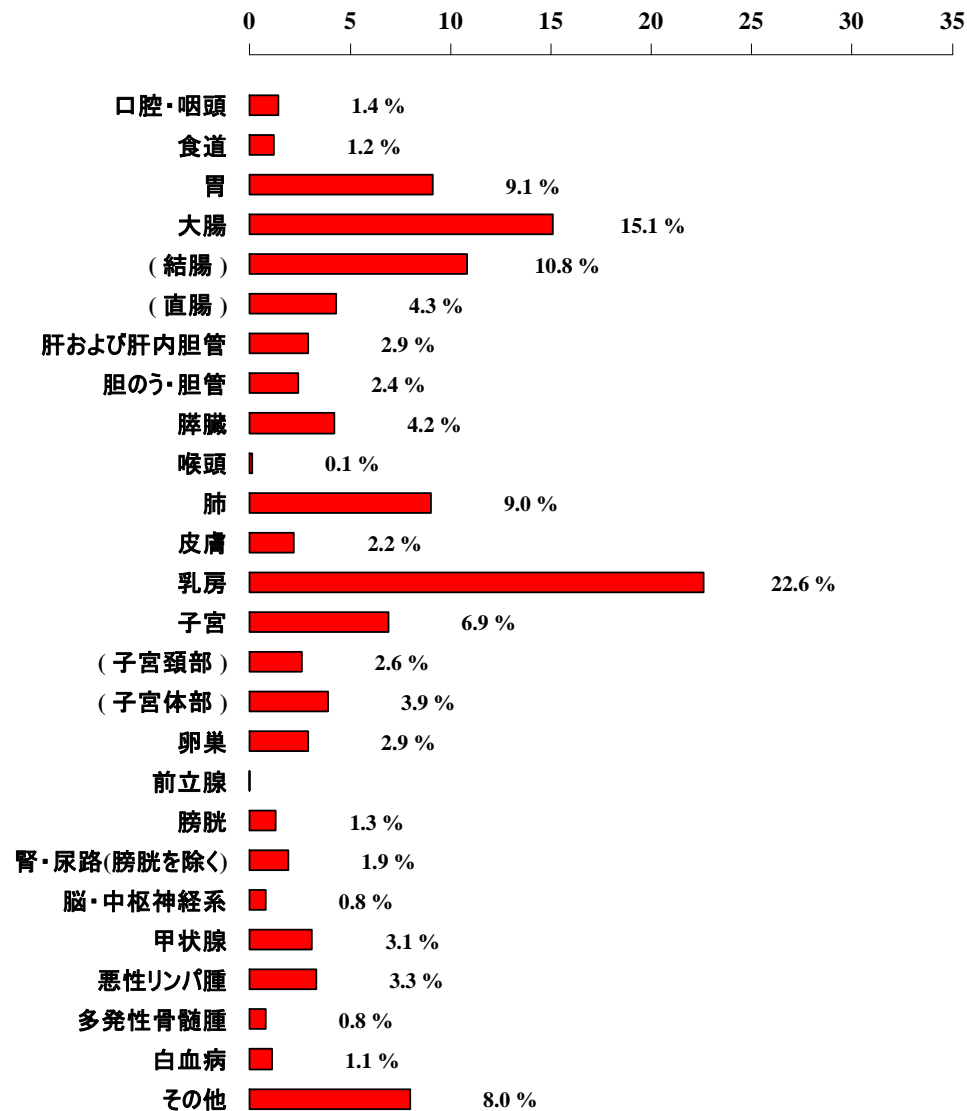
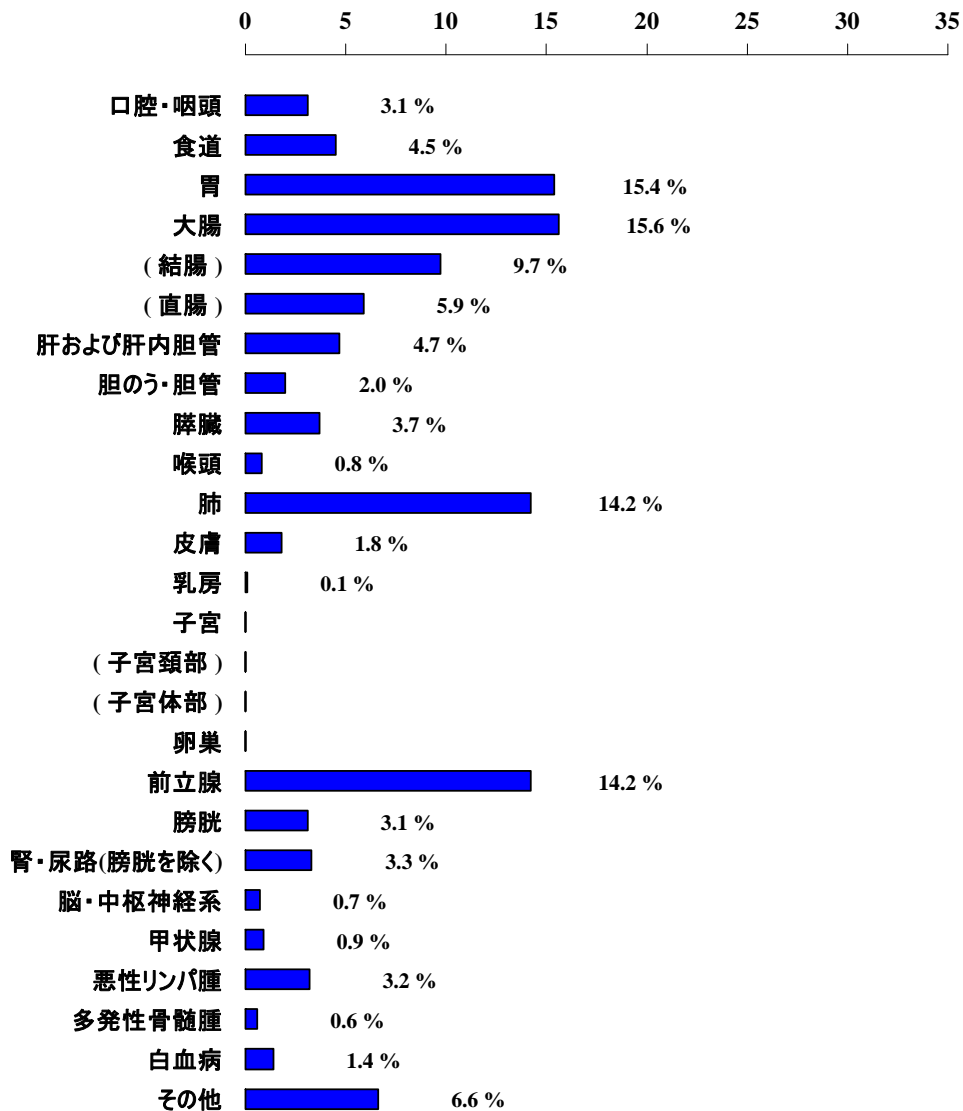


- 0~14歳
- 15~39歳
- 40~64歳
- 65~74歳
- 75歳以上

2013年診断部位別/性別罹患(除上皮内がん)

男(全年齢)
48,161件(上皮内がんを除く)

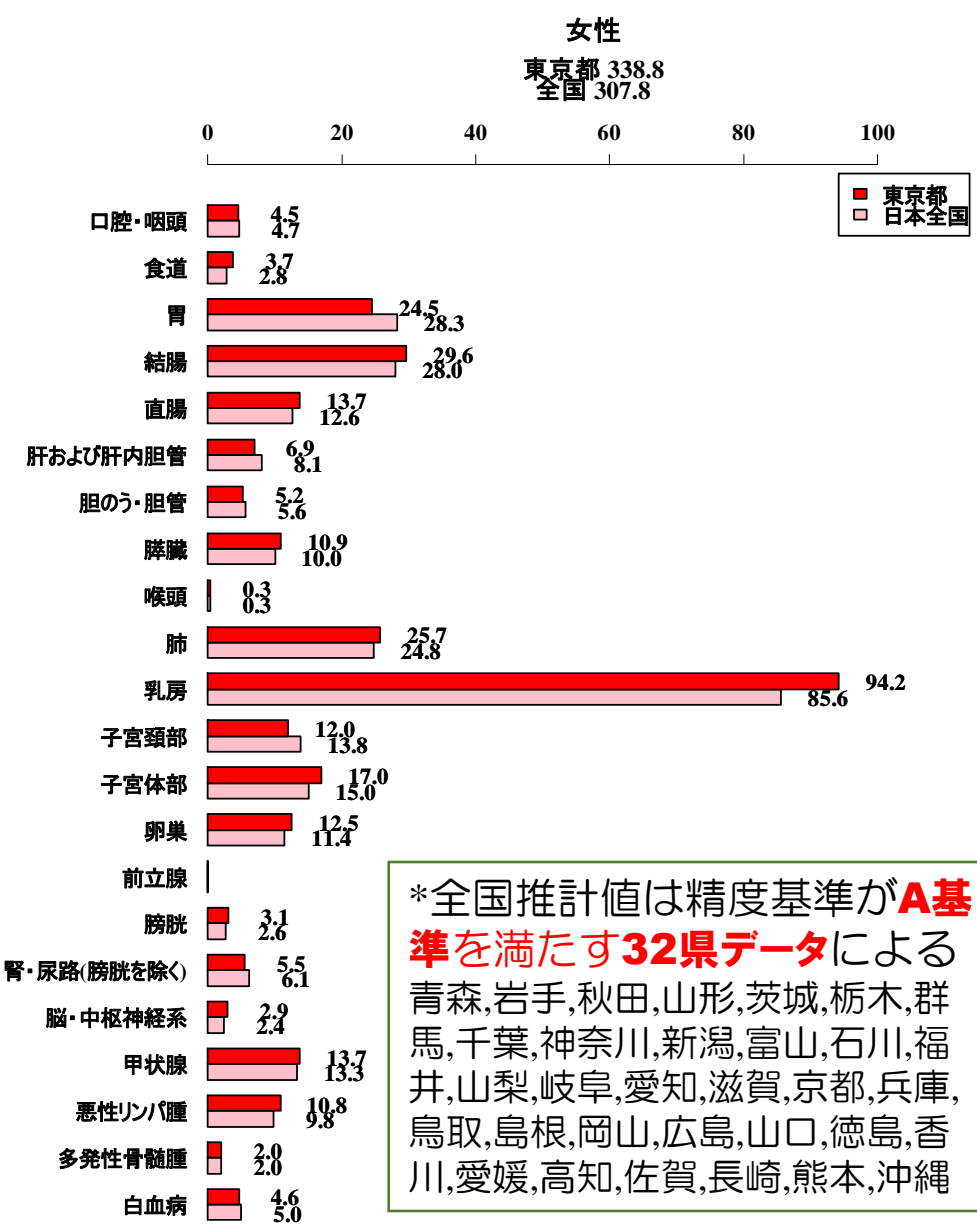
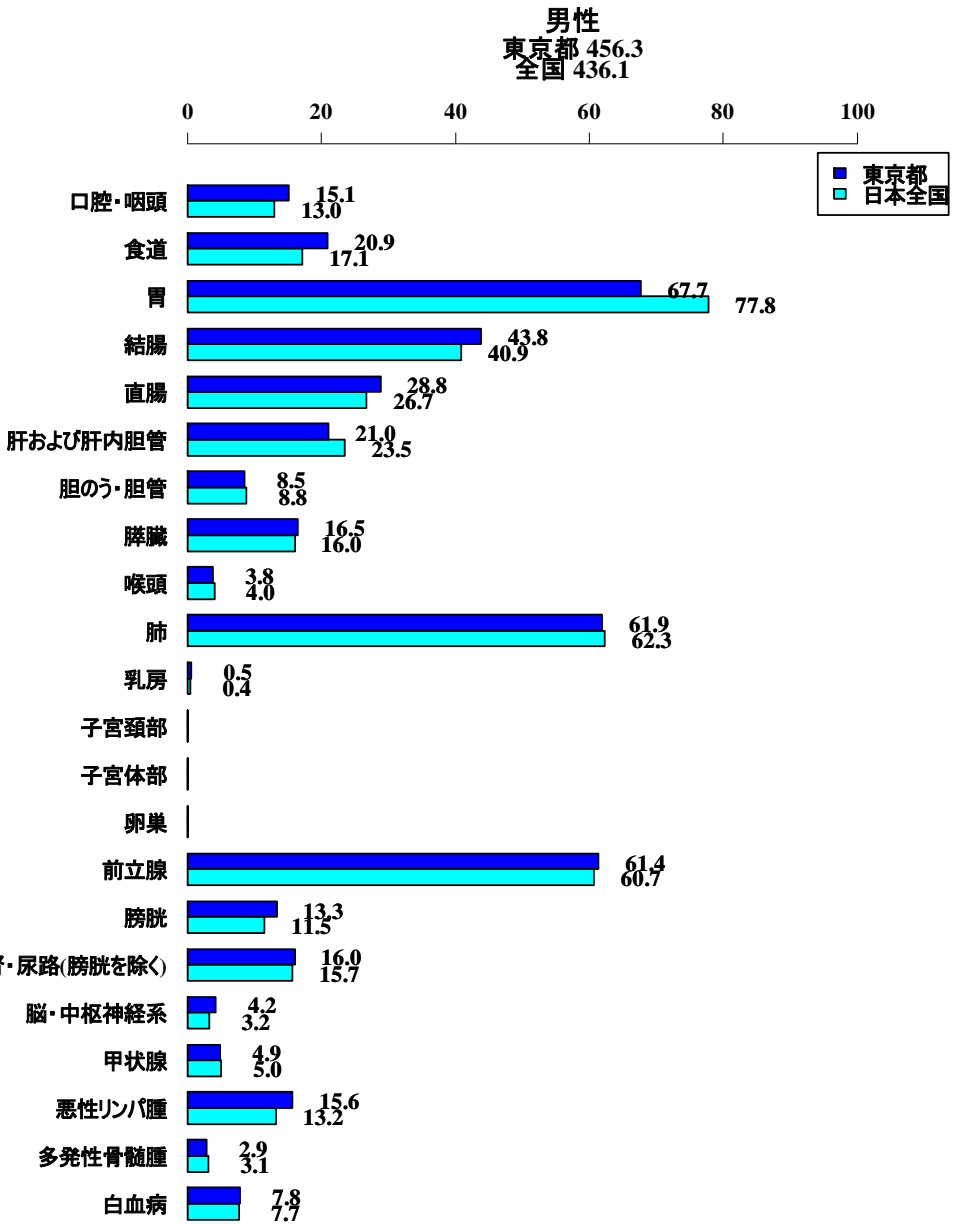
女(全年齢)
37,827件(上皮内がんを除く)



2012-13年診断：罹患割合

	2012年報告書		2013年報告書	
	男	女	男	女
1位	胃 15.4%	乳房 23.4%	大腸 15.6%	乳房 22.6%
2位	大腸 15.2%	大腸 14.5%	胃 15.4%	大腸 15.1%
3位	前立腺 14.7%	肺 8.9%	前立腺 14.2%	胃 9.1%
4位	肺 13.7%	胃 8.8%	肺 14.2%	肺 9.0%
5位	肝および肝内胆管 4.9%	子宮 6.4%	肝および肝内胆管 4.7%	子宮 6.9%

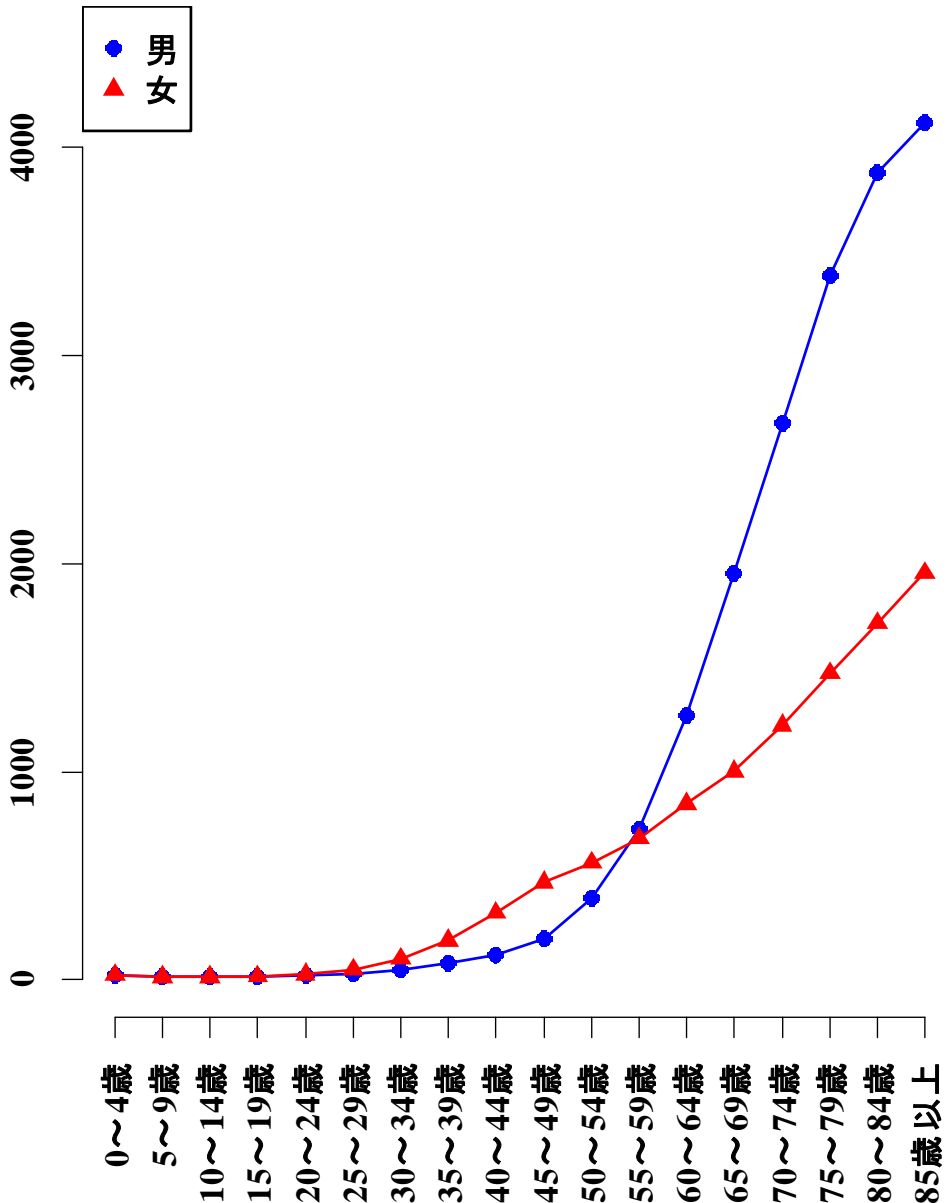
2013年診断がん年齢調整罹患率：人口10万対 (全国推計値*との比較)



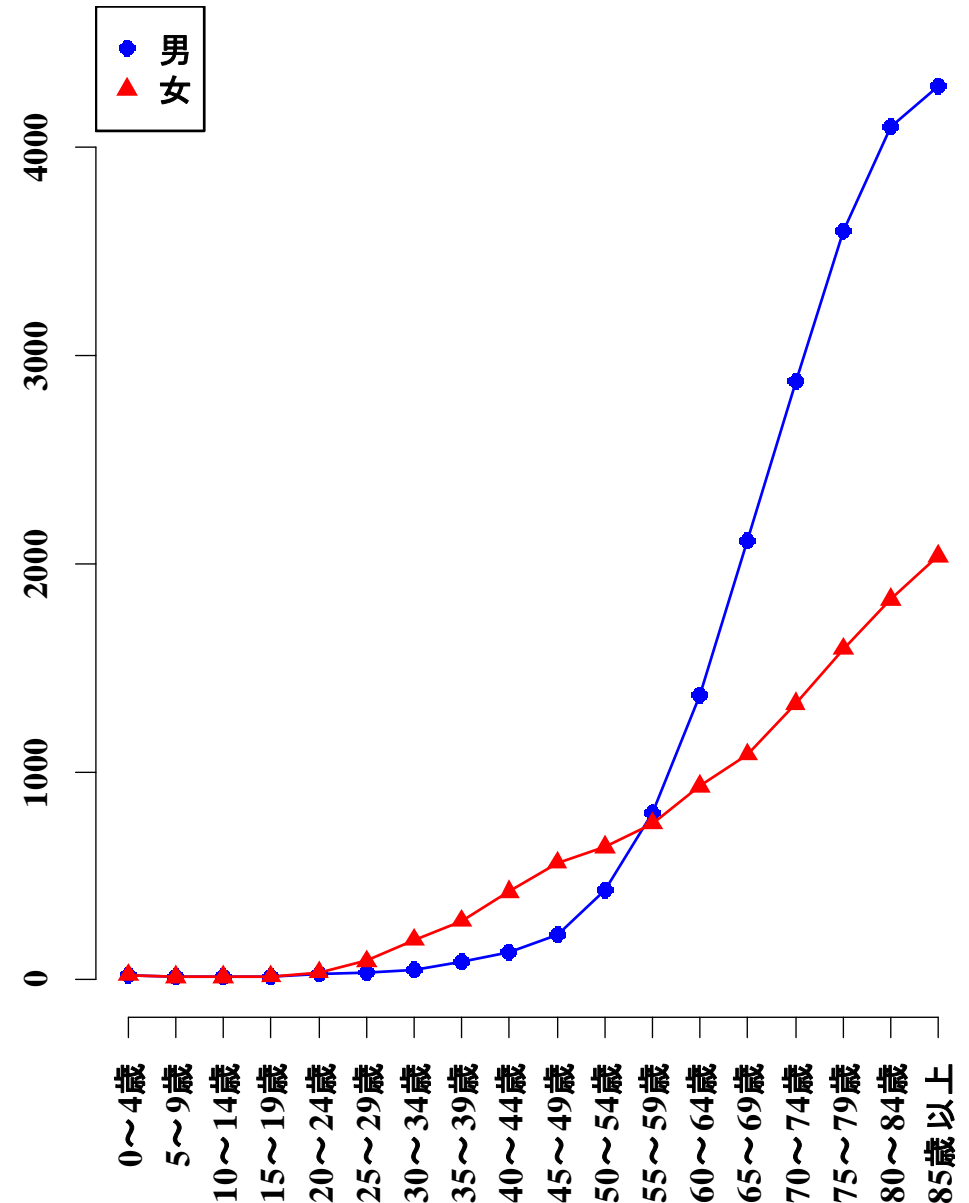
*全国推計値は精度基準が**A基準**を満たす**32県データ**による
 青森,岩手,秋田,山形,茨城,栃木,群馬,千葉,神奈川,新潟,富山,石川,福井,山梨,岐阜,愛知,滋賀,京都,兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,山口,徳島,香川,愛媛,高知,佐賀,長崎,熊本,沖縄

2013年診断年齢階級別罹患率:人口10万対(全部位)

全部位(上皮内がんを含まず)

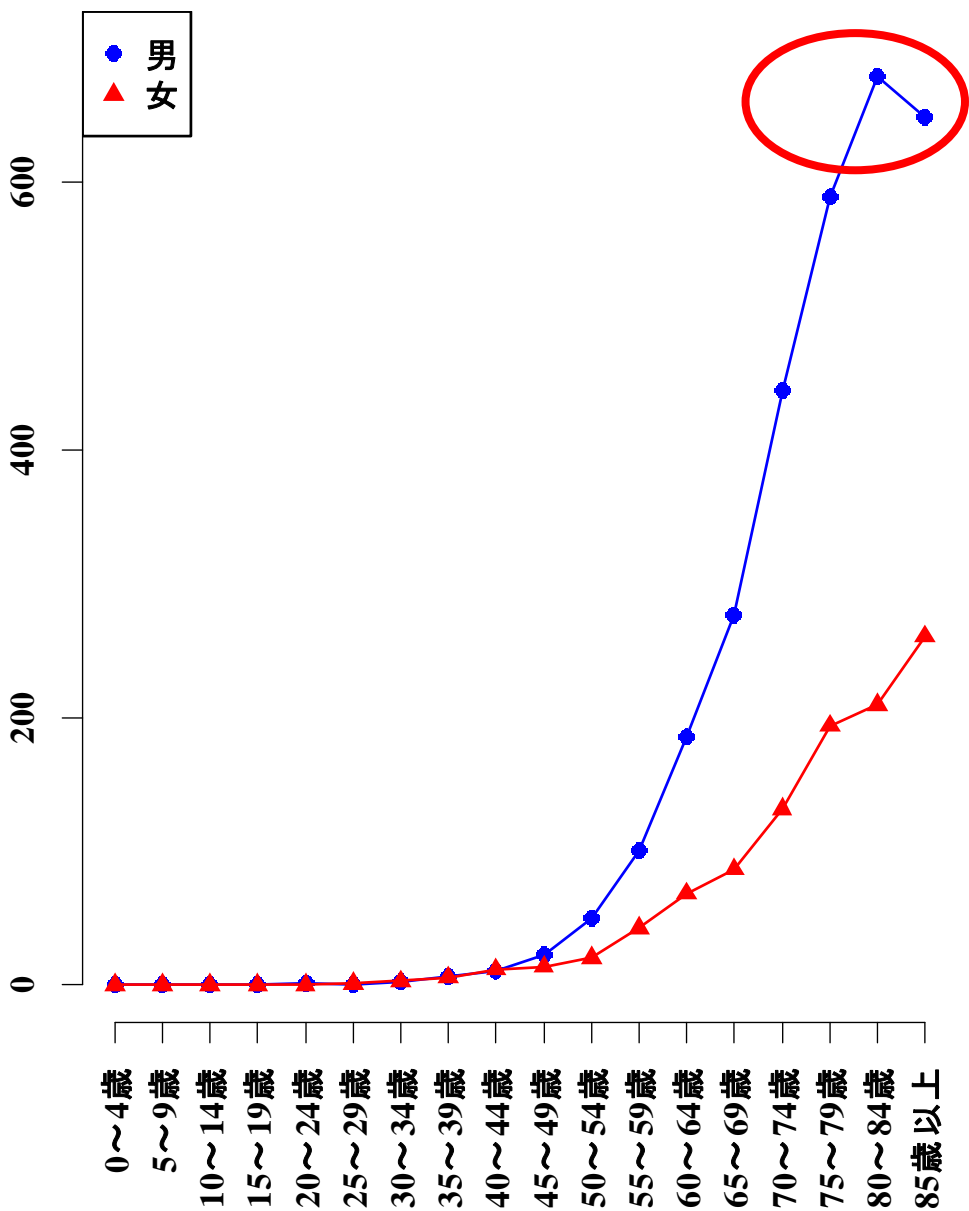


全部位(上皮内がんを含む)

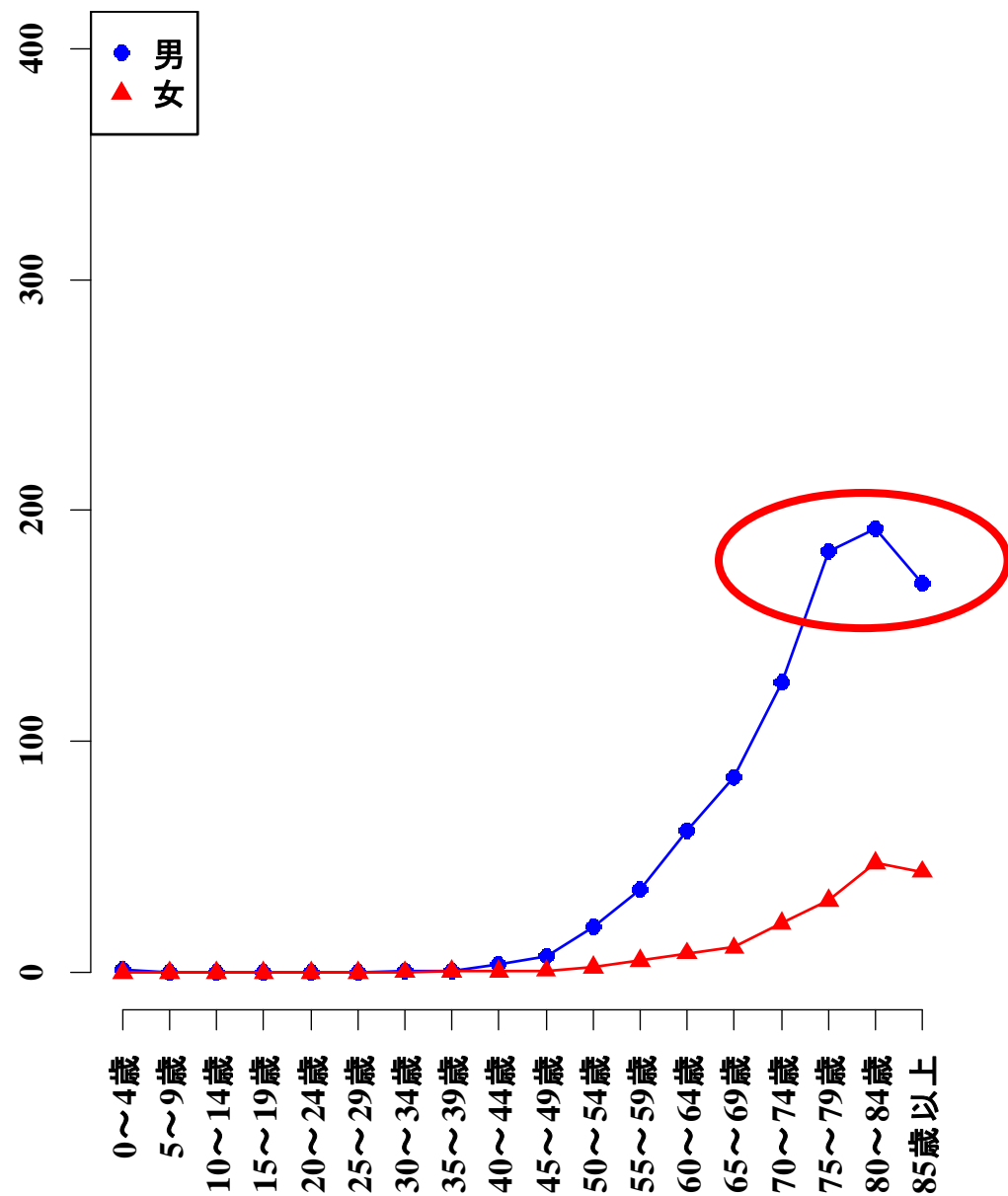


2013年診斷年齡階級別罹患率:人口10万对(胃/肝)

胃

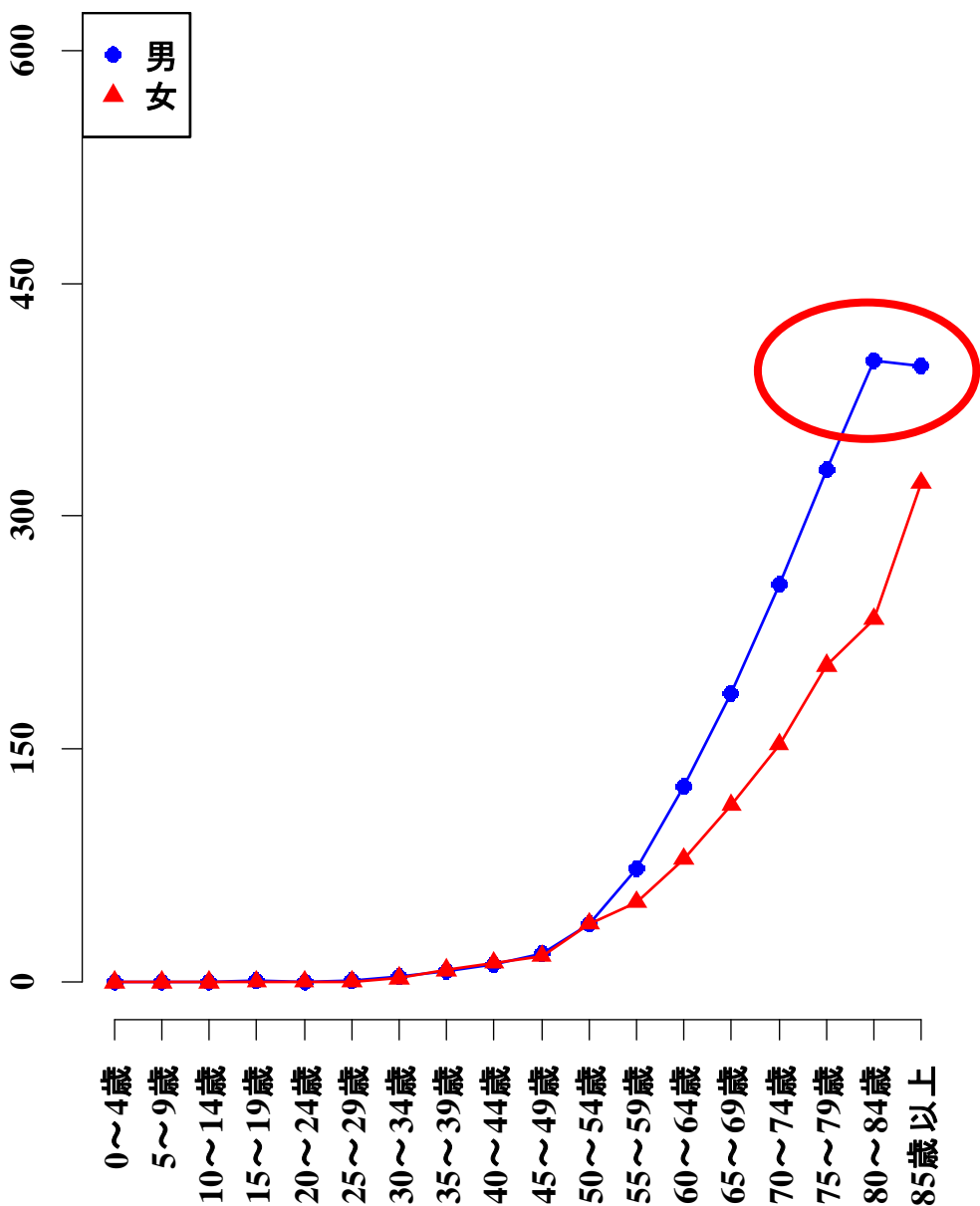


肝

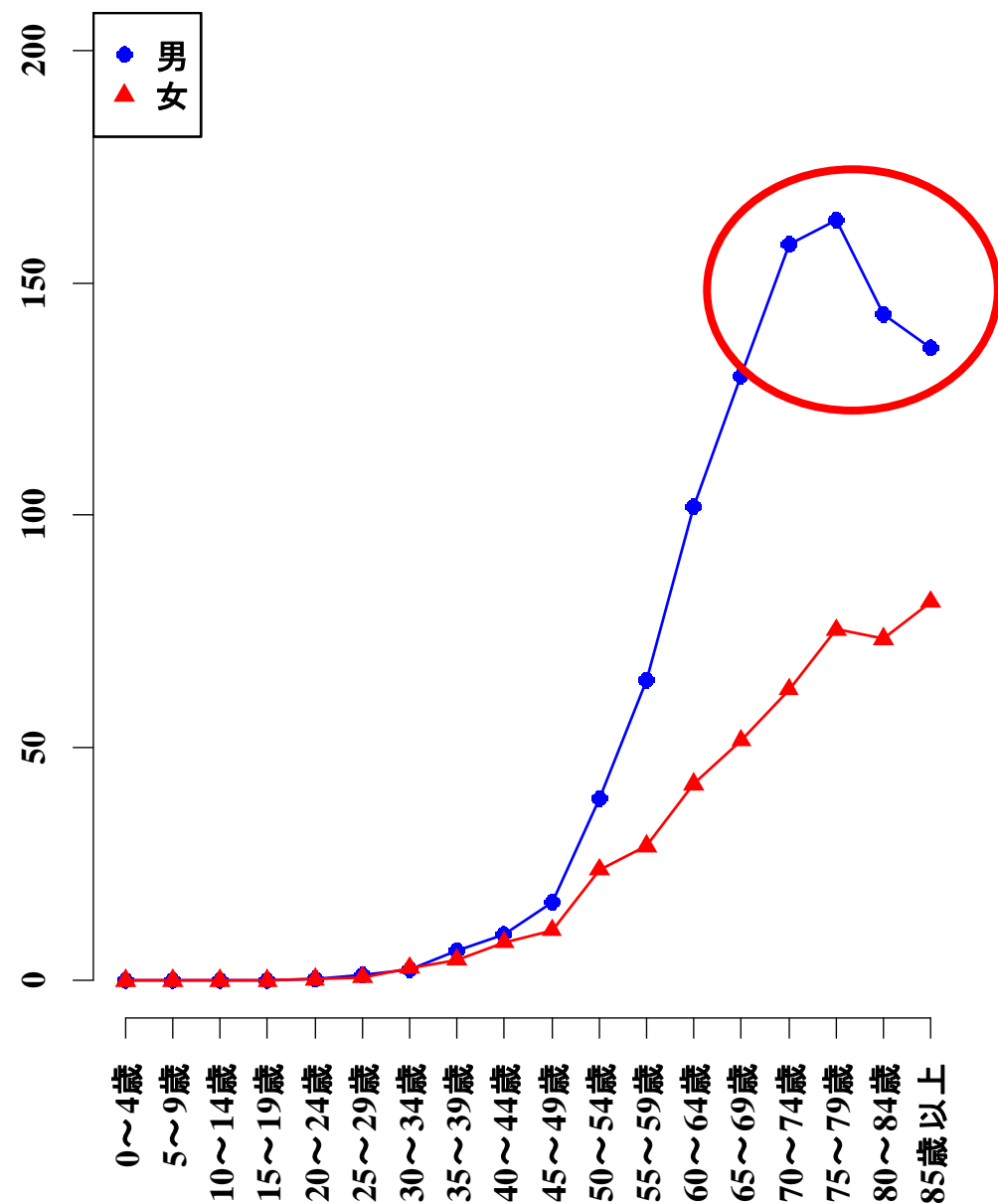


2013年診断年齢階級別罹患率:人口10万対(大腸)

結腸(mがんを含まず)

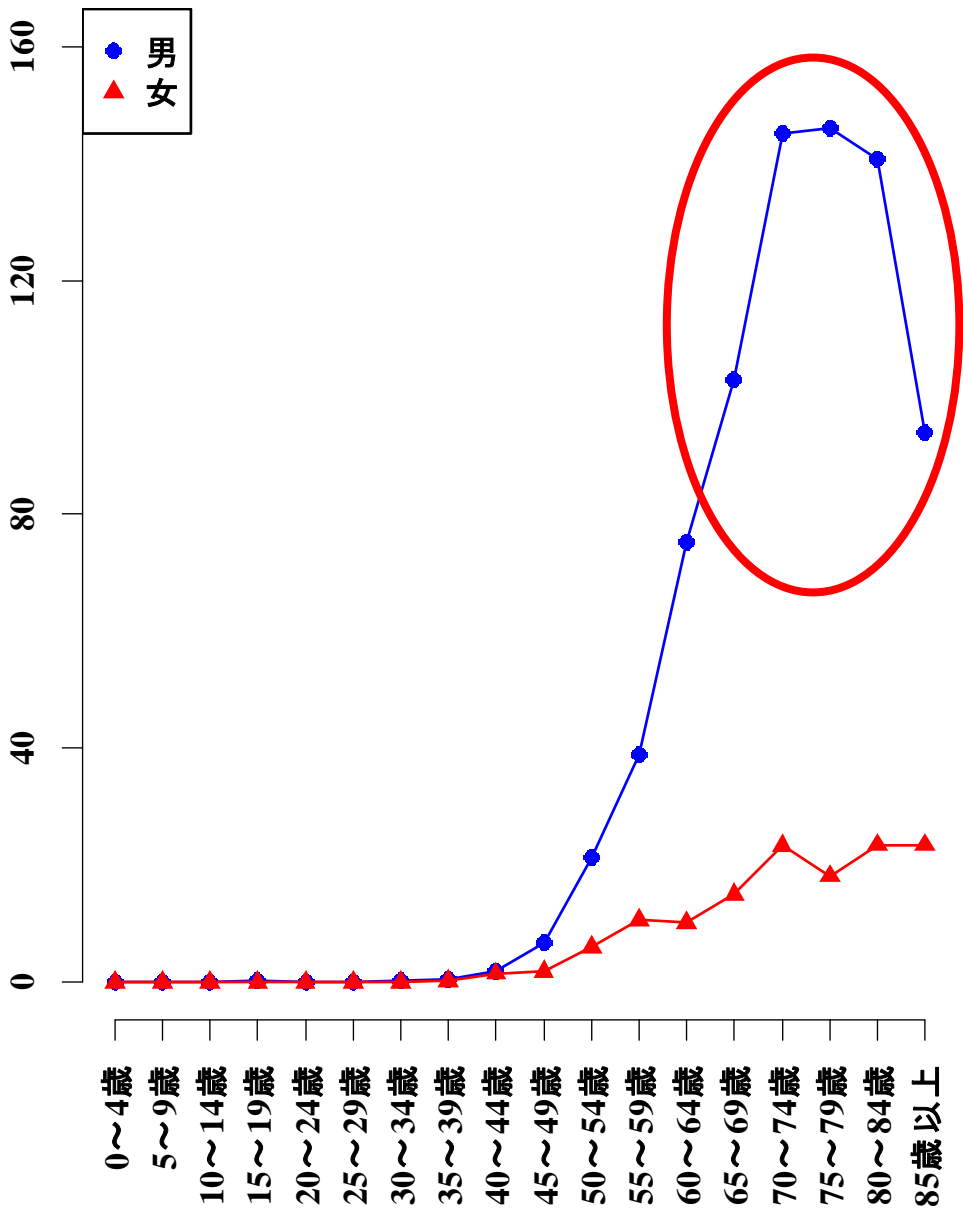


直腸(mがんを含まず)

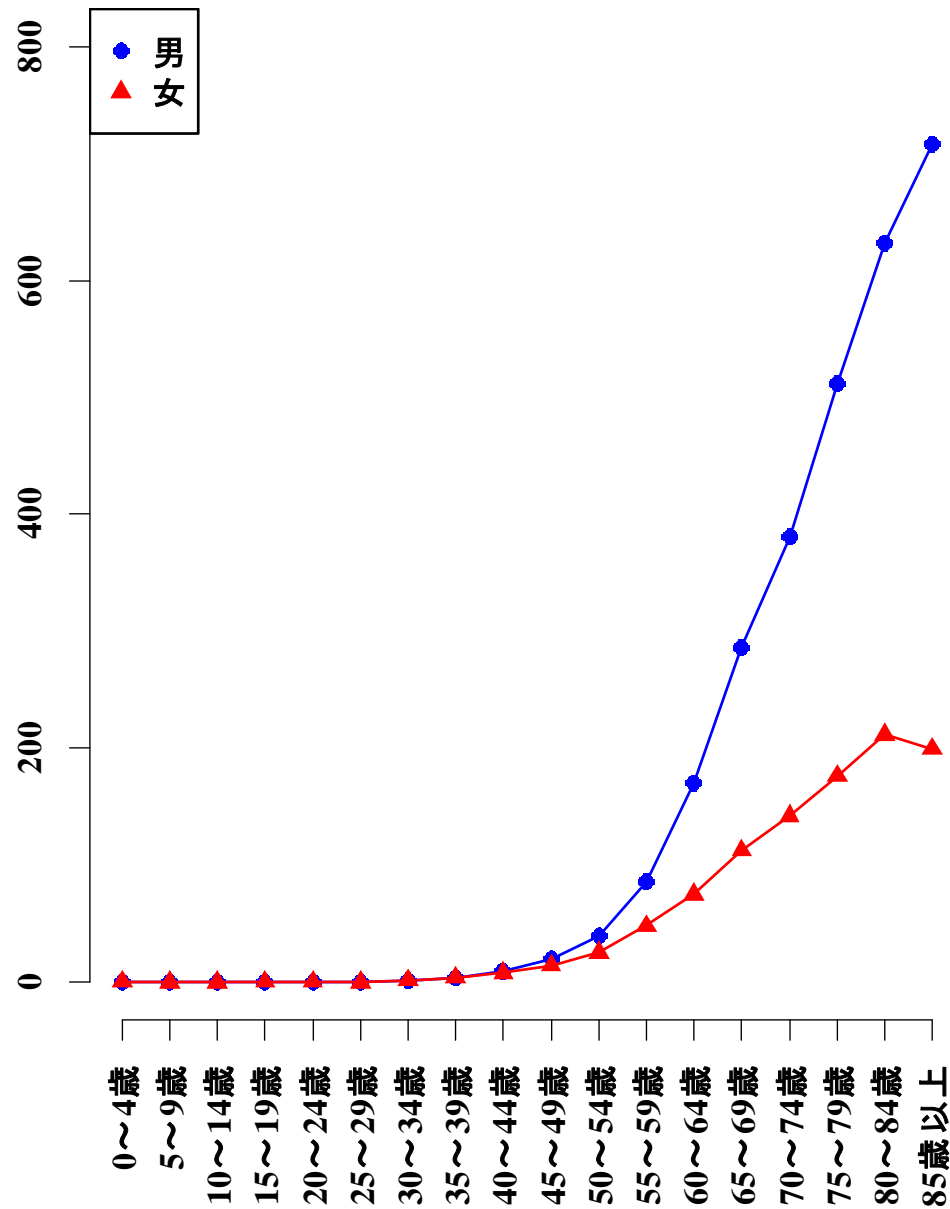


2013年診斷年齡階級別罹患率:人口10万对(食道/肺)

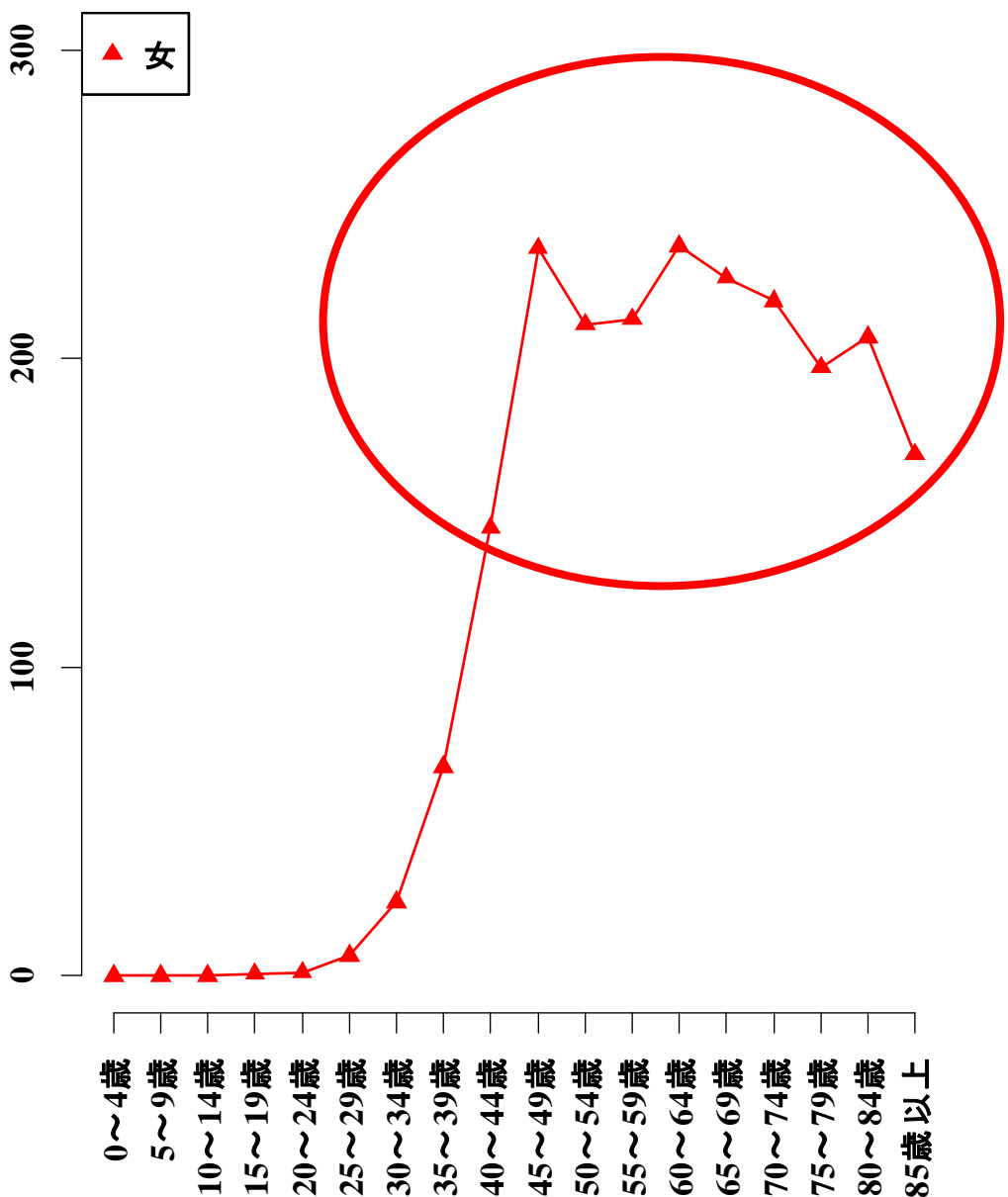
食道



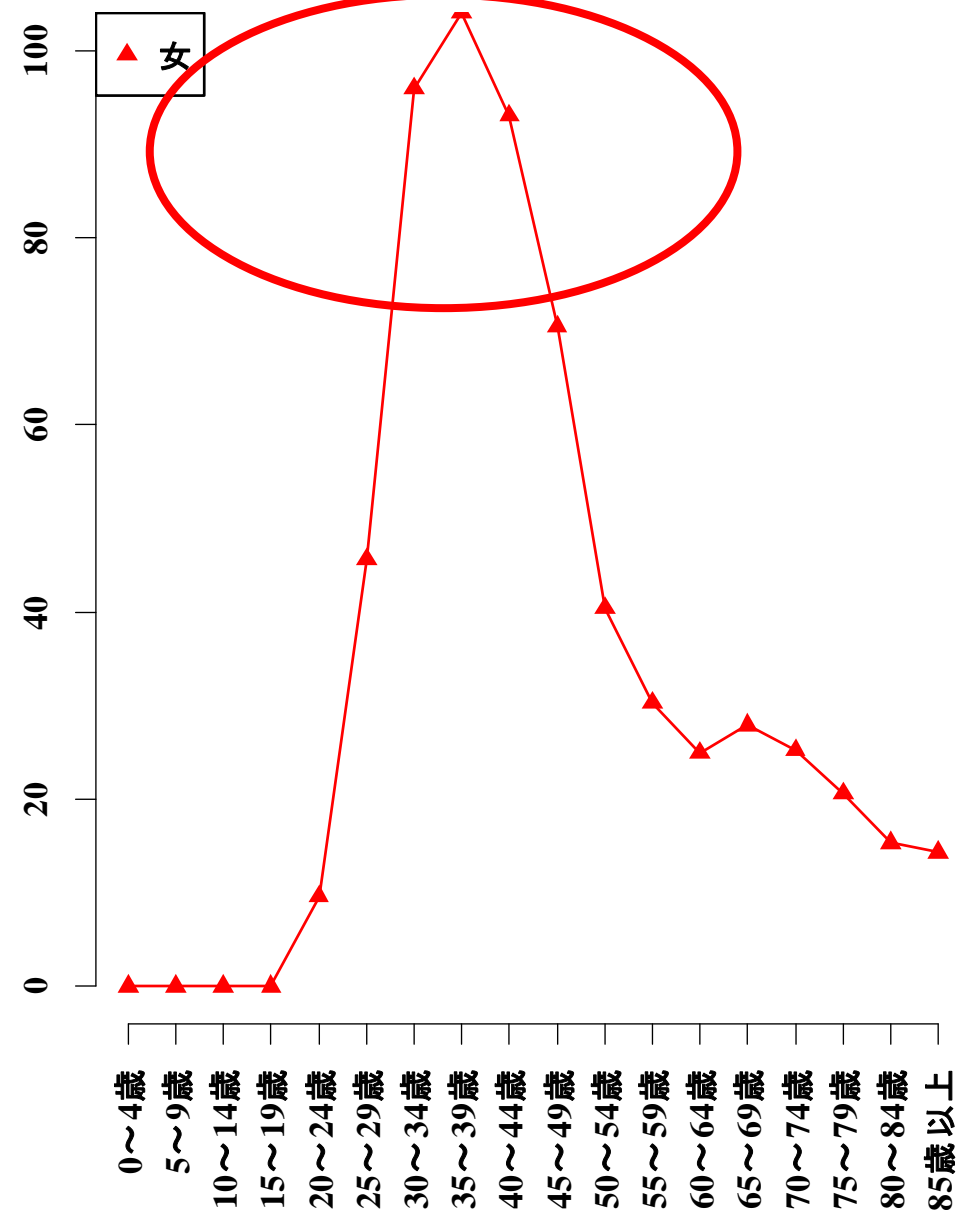
肺



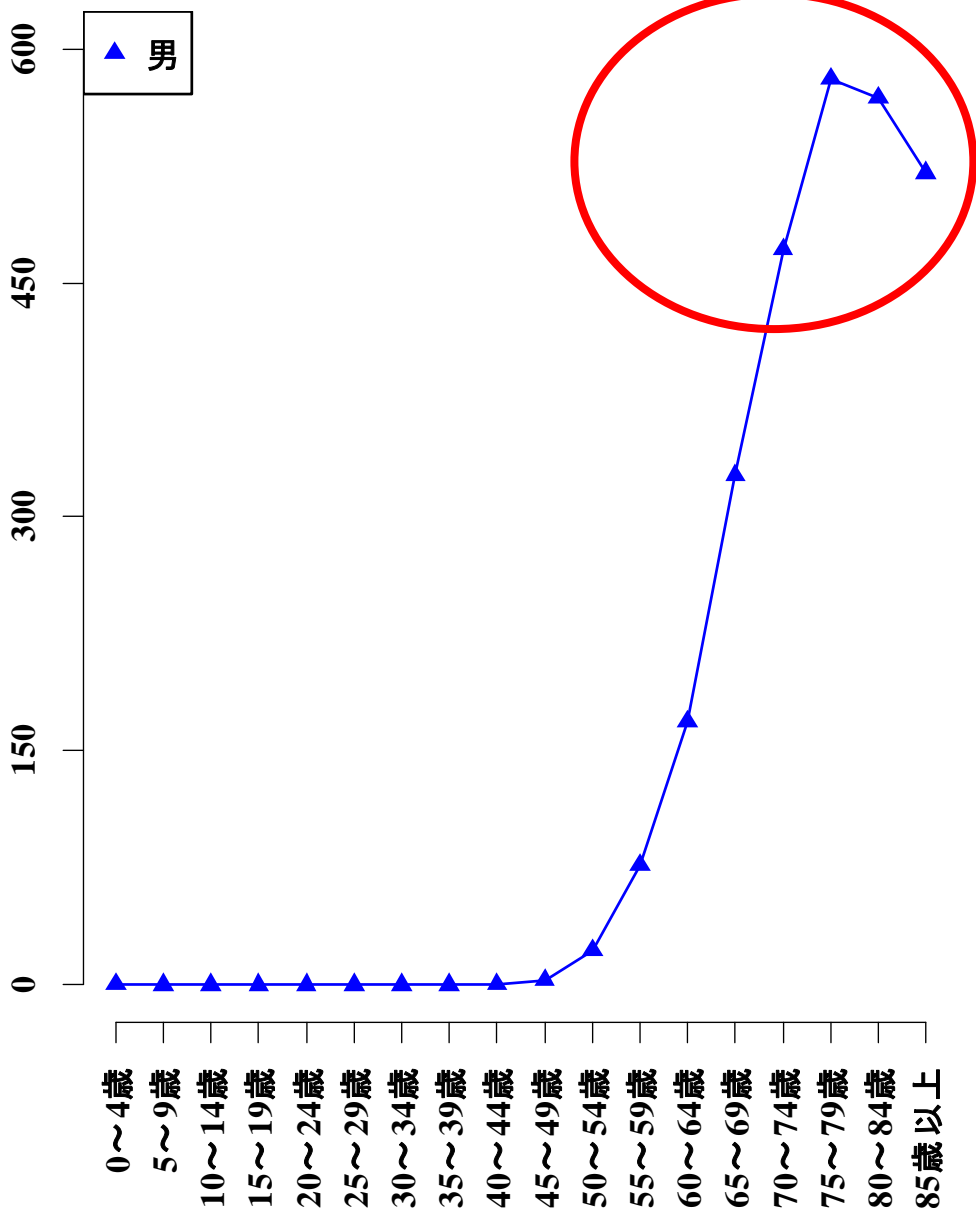
乳房(上皮内がんを含まず)



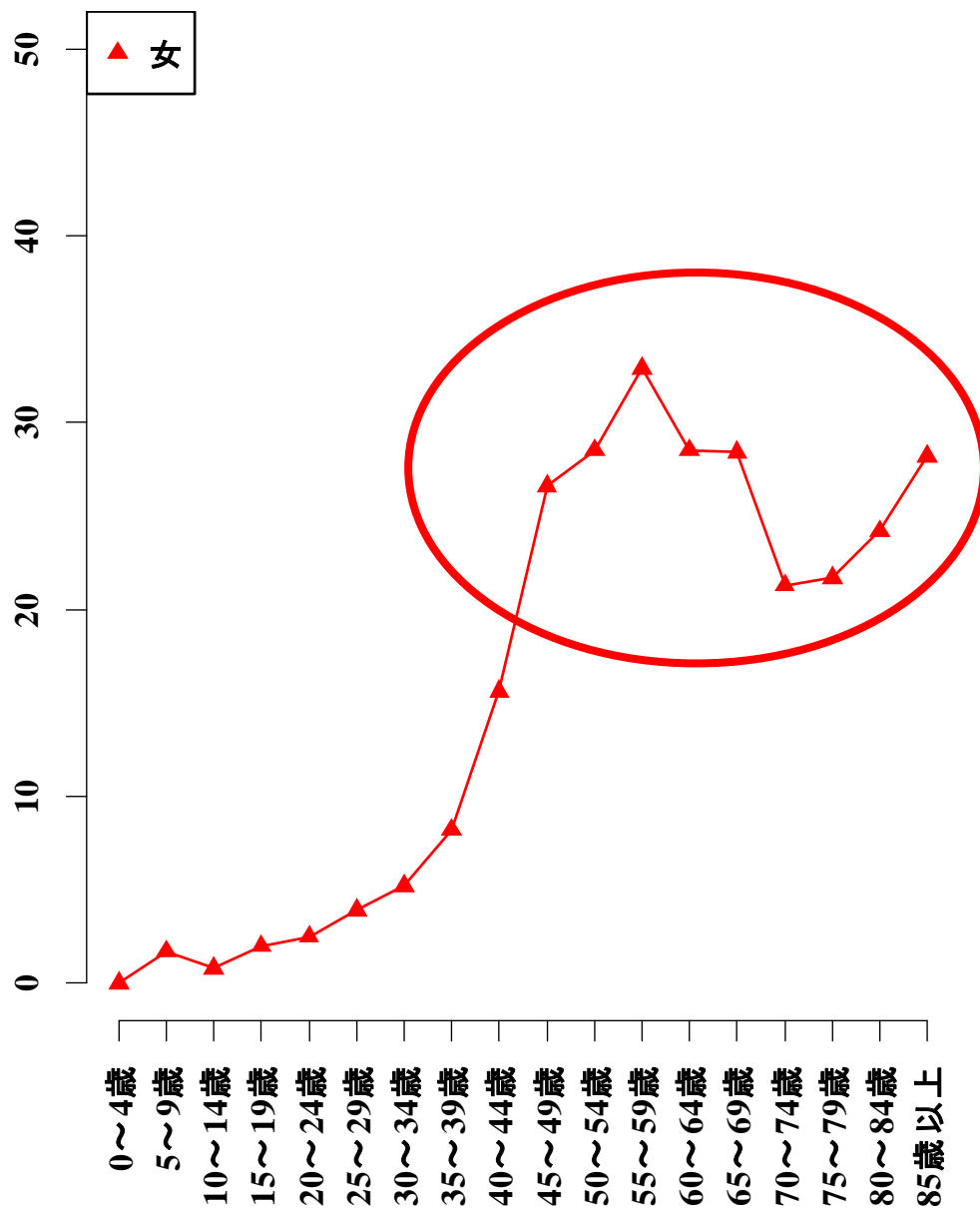
子宮頸部(上皮内がんを含む)



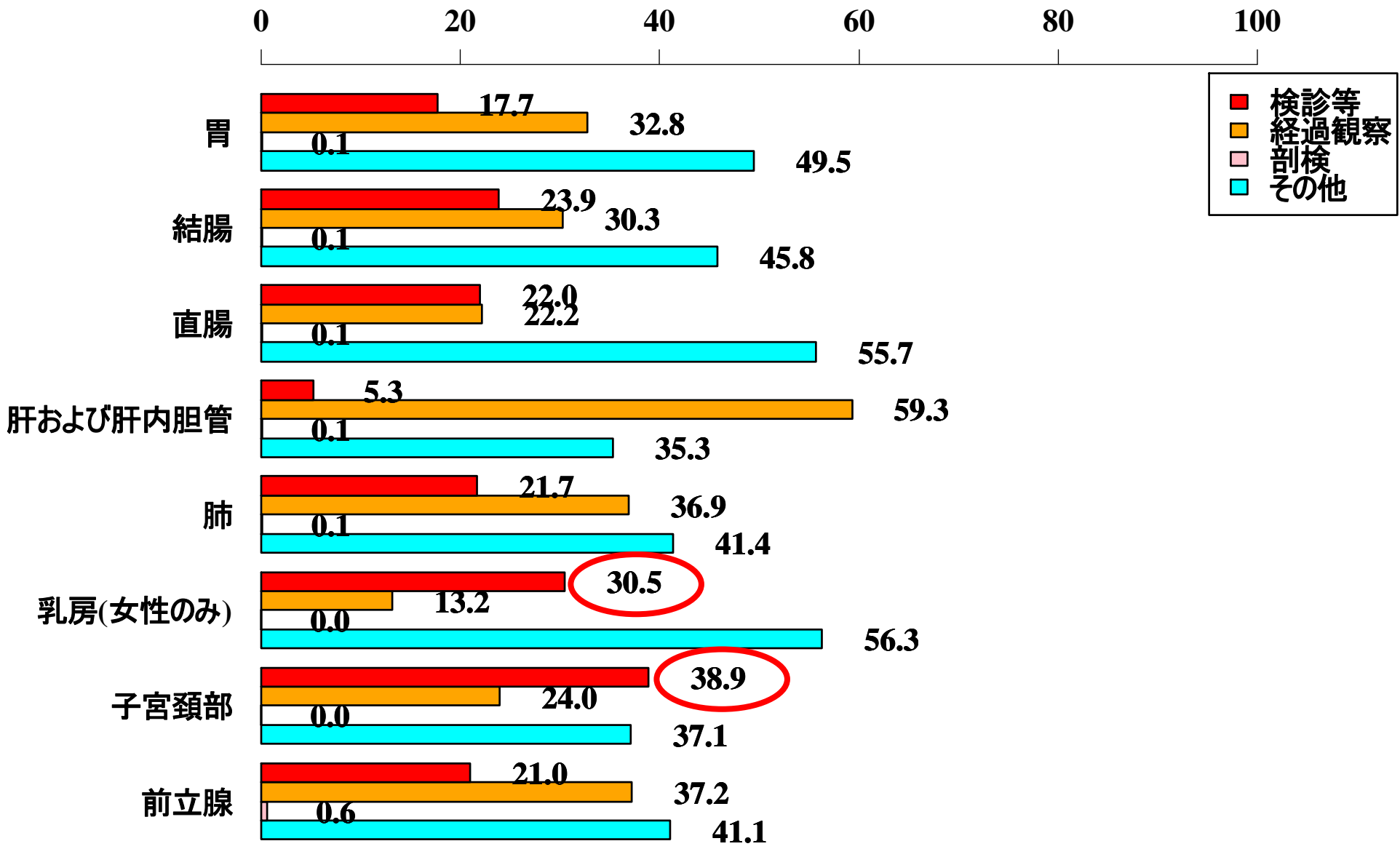
前立腺



卵巢



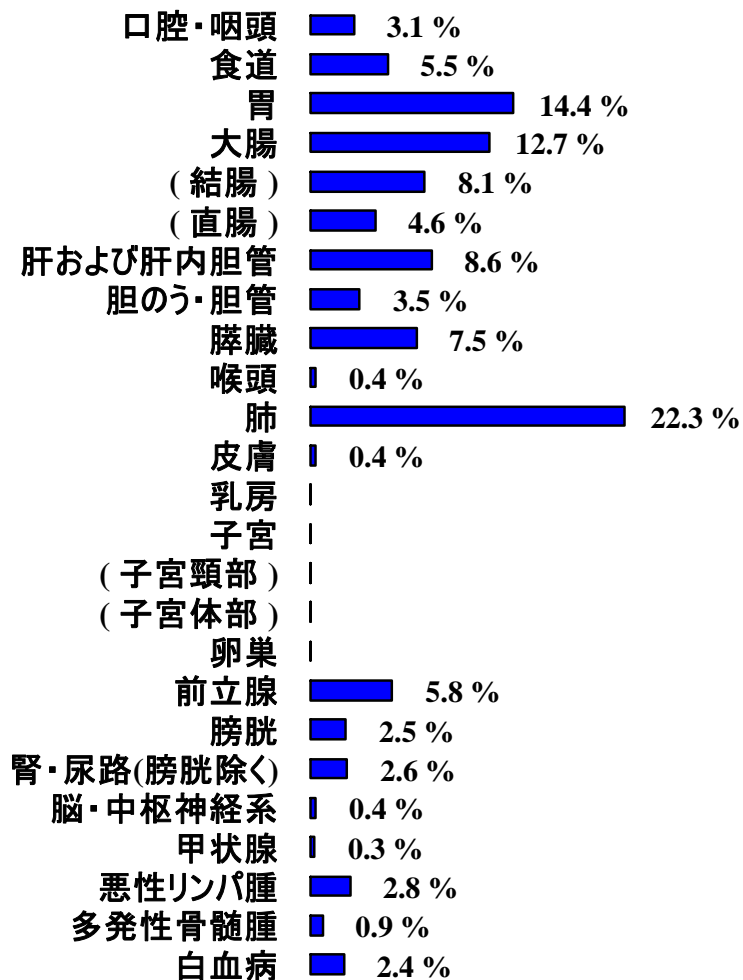
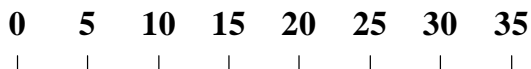
2013年診断部位別発見経緯割合(%) (DCO症例を除く)



2013年部位別・性別死亡数と性別がん死亡割合

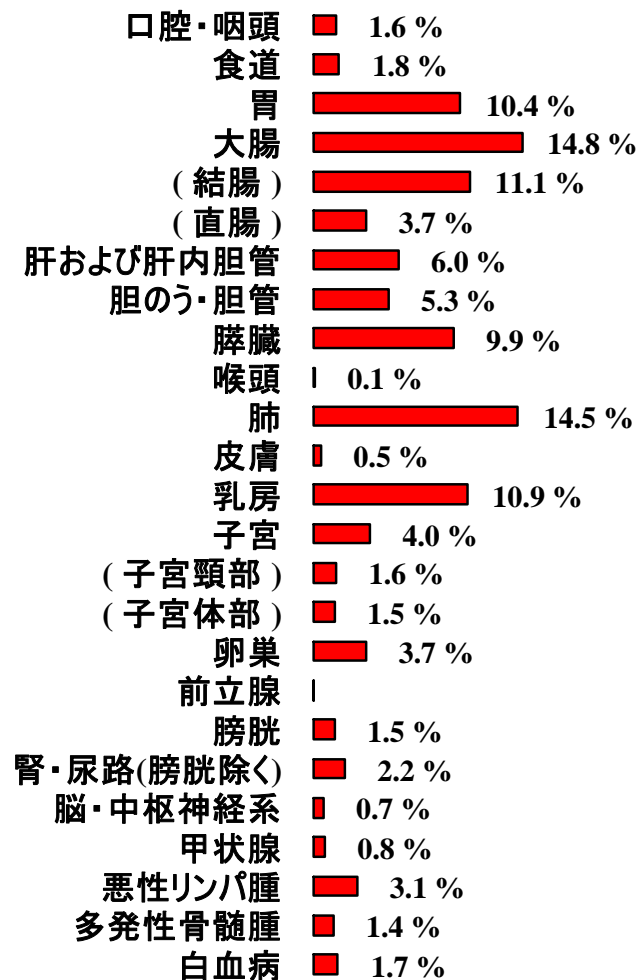
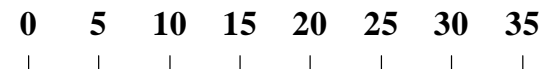
男 (全年齢)

19,794 件(上皮内がんを除く)



女 (全年齢)

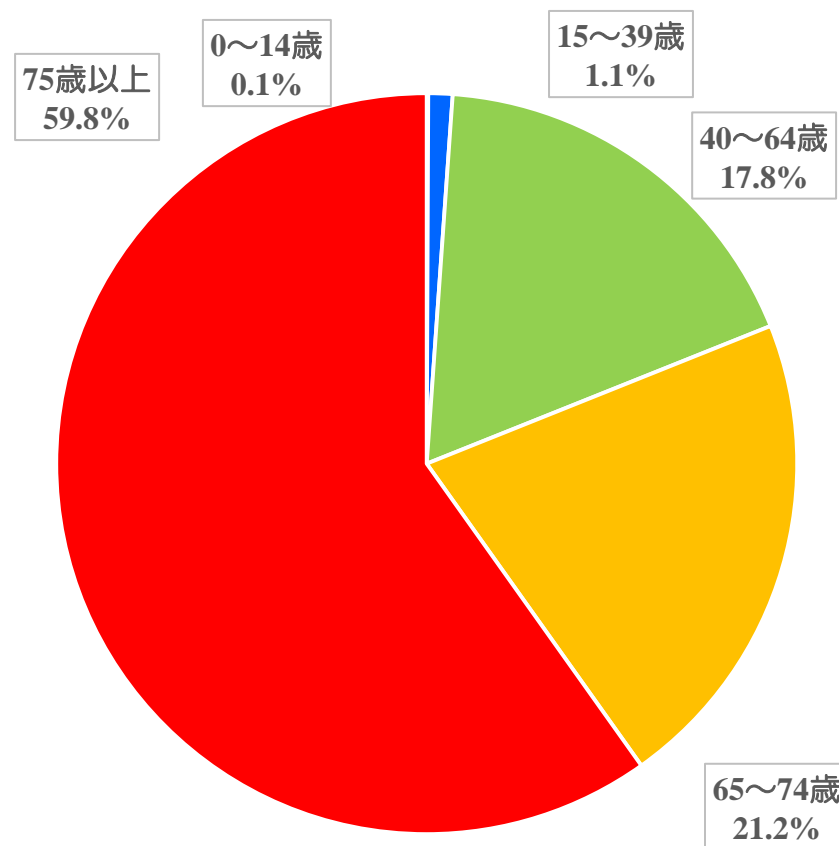
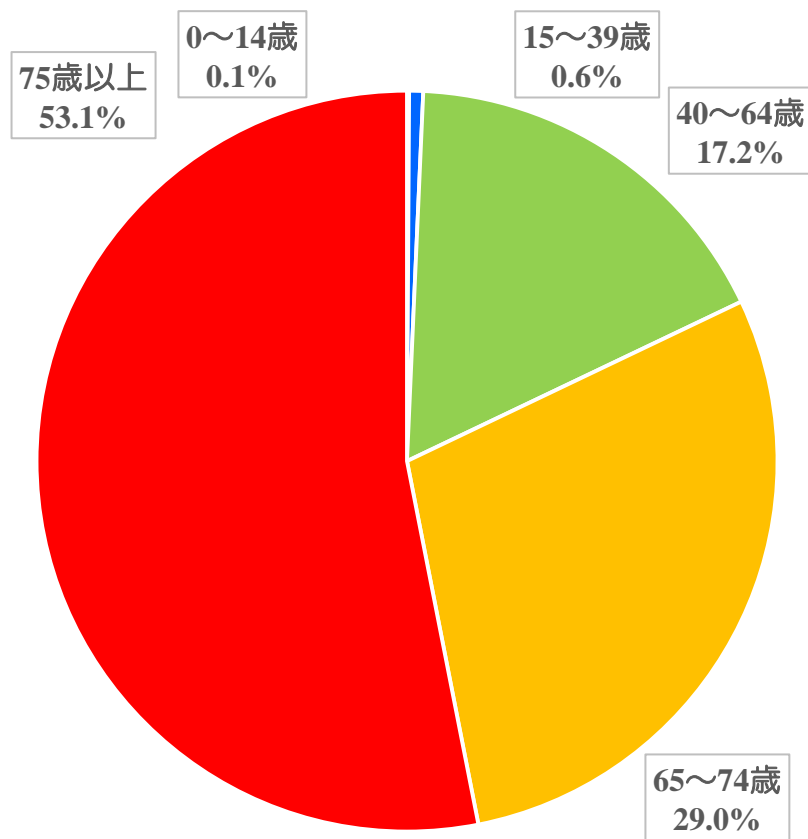
13,555 件(上皮内がんを除く)



2013年死亡性別年齡群別死亡割合

男性(%) 19,794人

女性(%) 13,555人

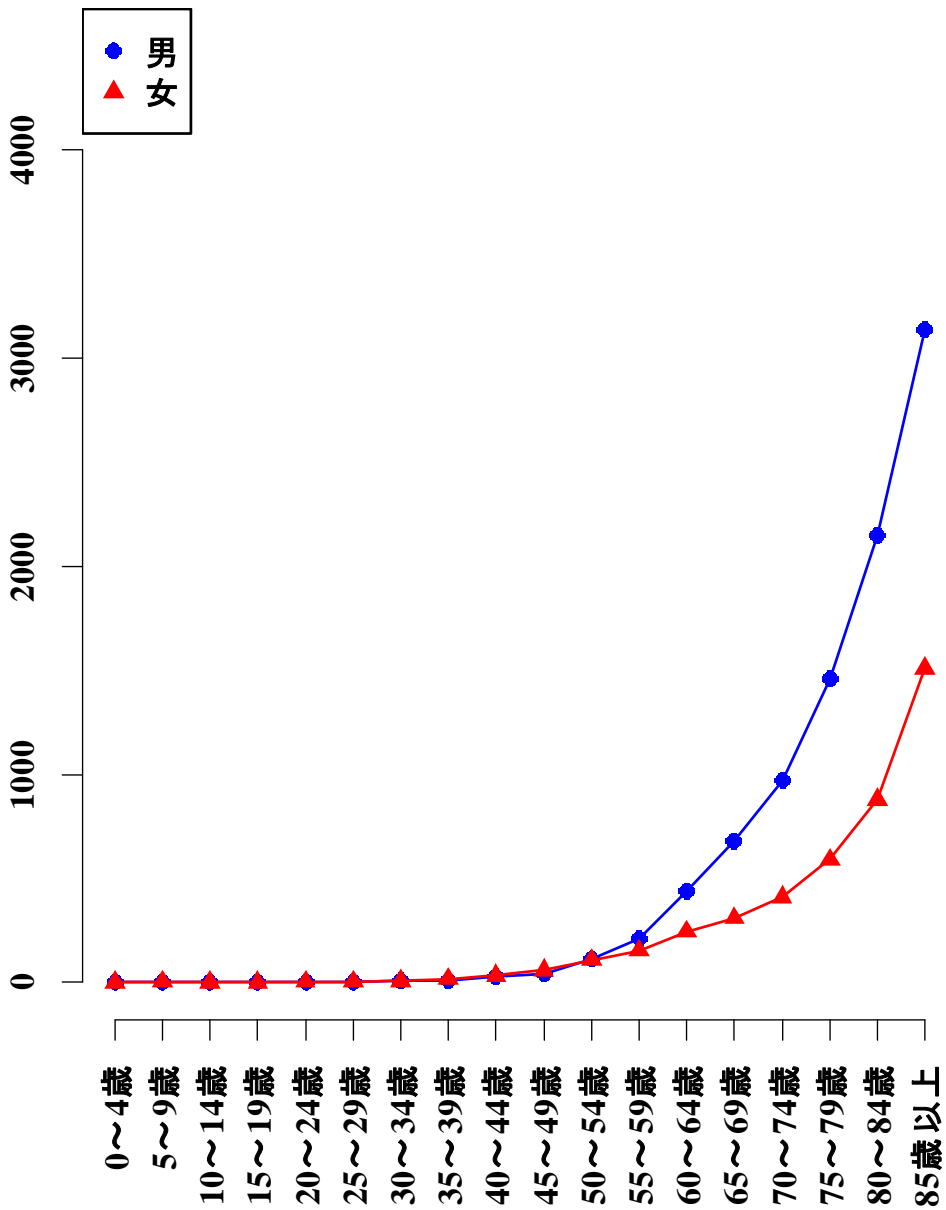


■ 0~14歳 ■ 15~39歳 ■ 40~64歳
■ 65~74歳 ■ 75歳以上

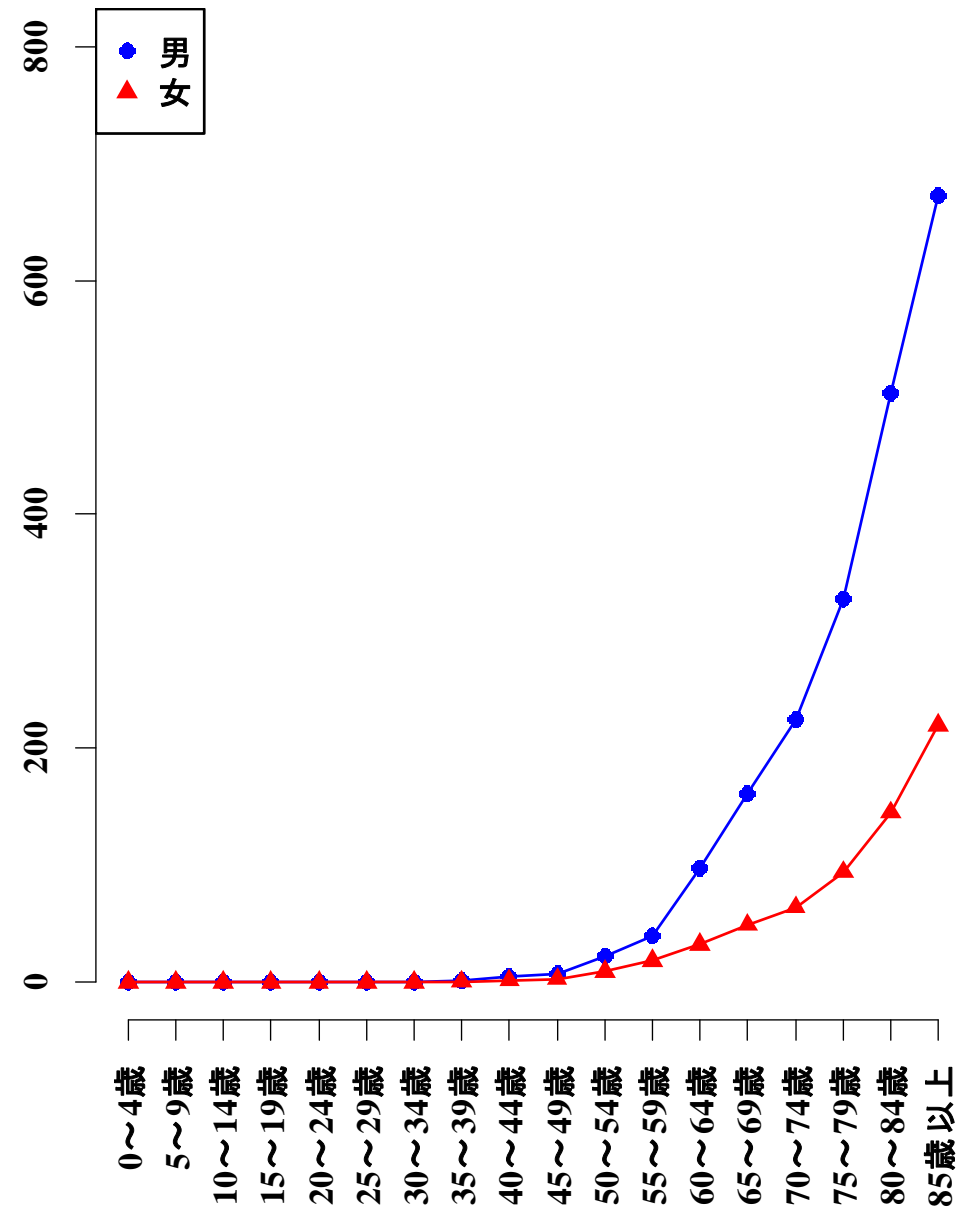
■ 0~14歳 ■ 15~39歳 ■ 40~64歳
■ 65~74歳 ■ 75歳以上

2013年年齡階級別死亡率:人口10万对(全部位/肺)

全部位

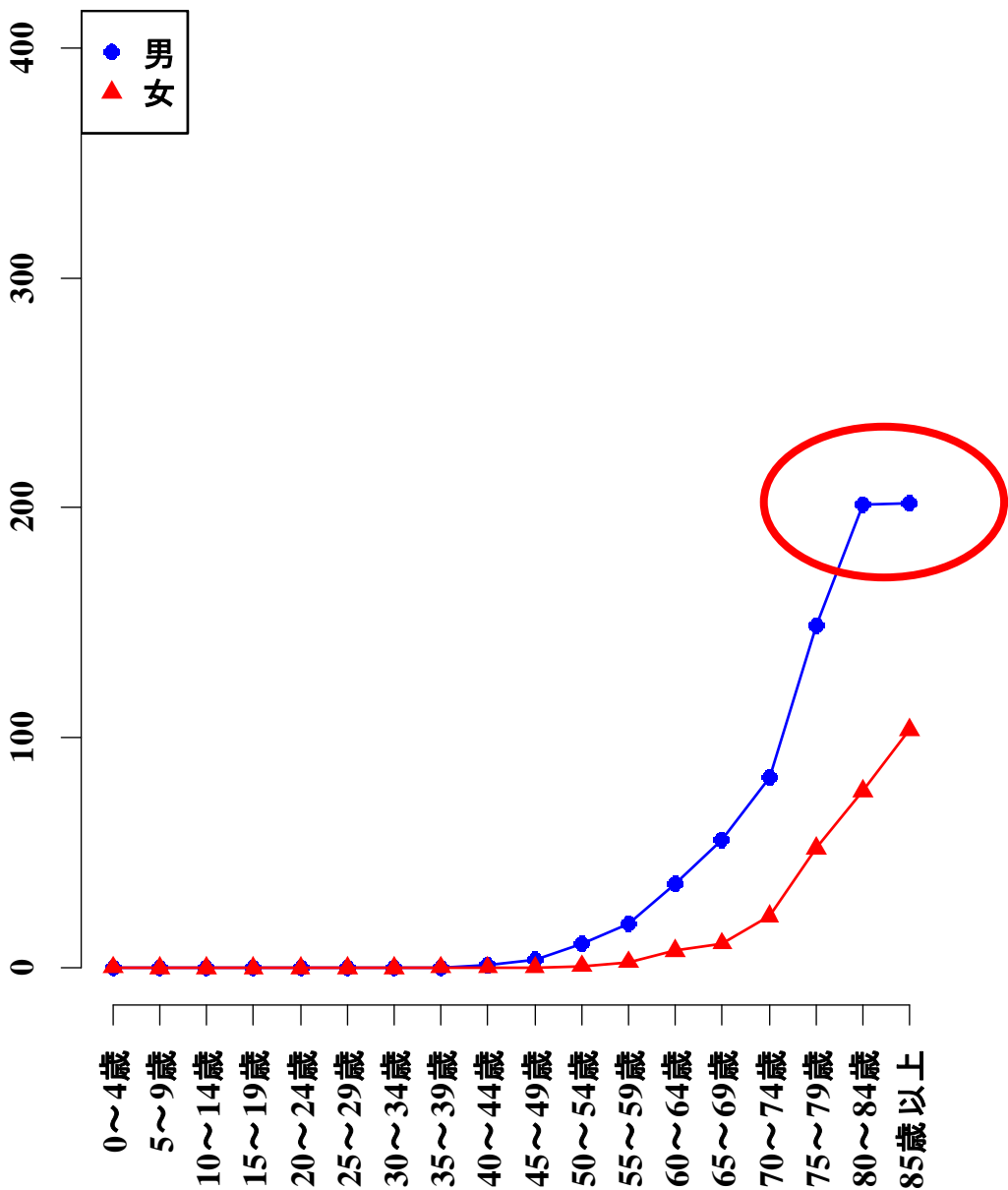


肺

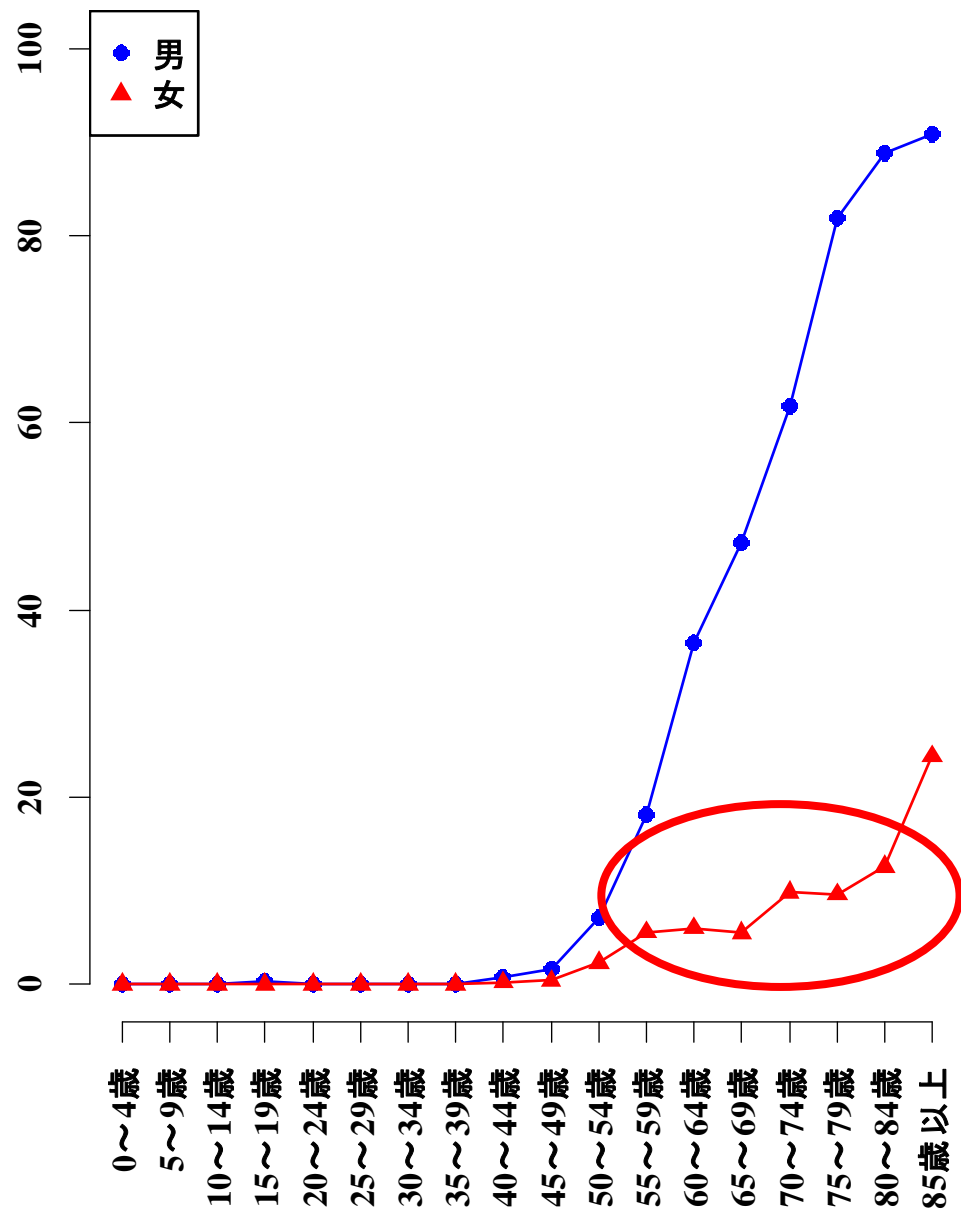


2013年年齡階級別死亡率:人口10万对(肝/食道)

肝

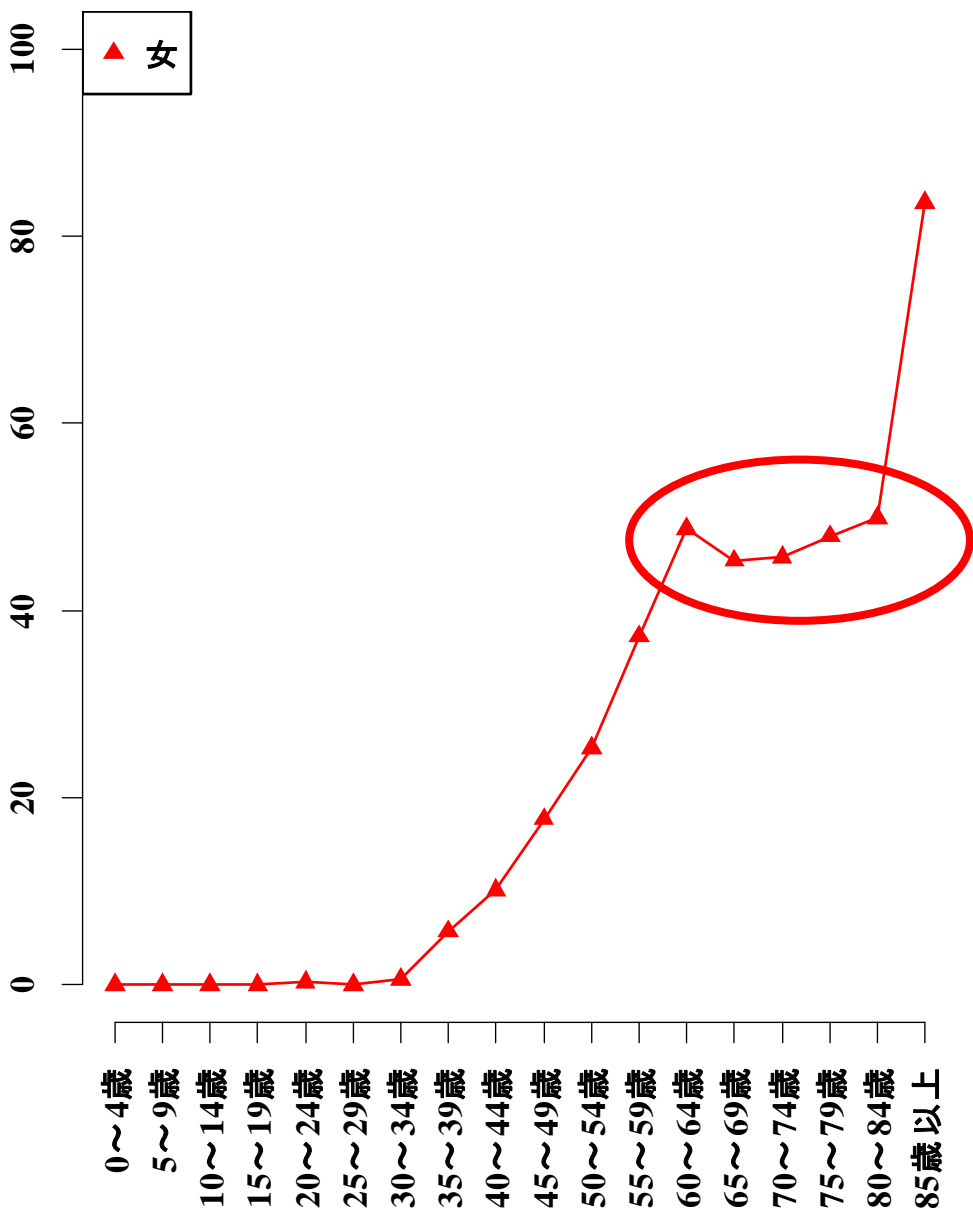


食道

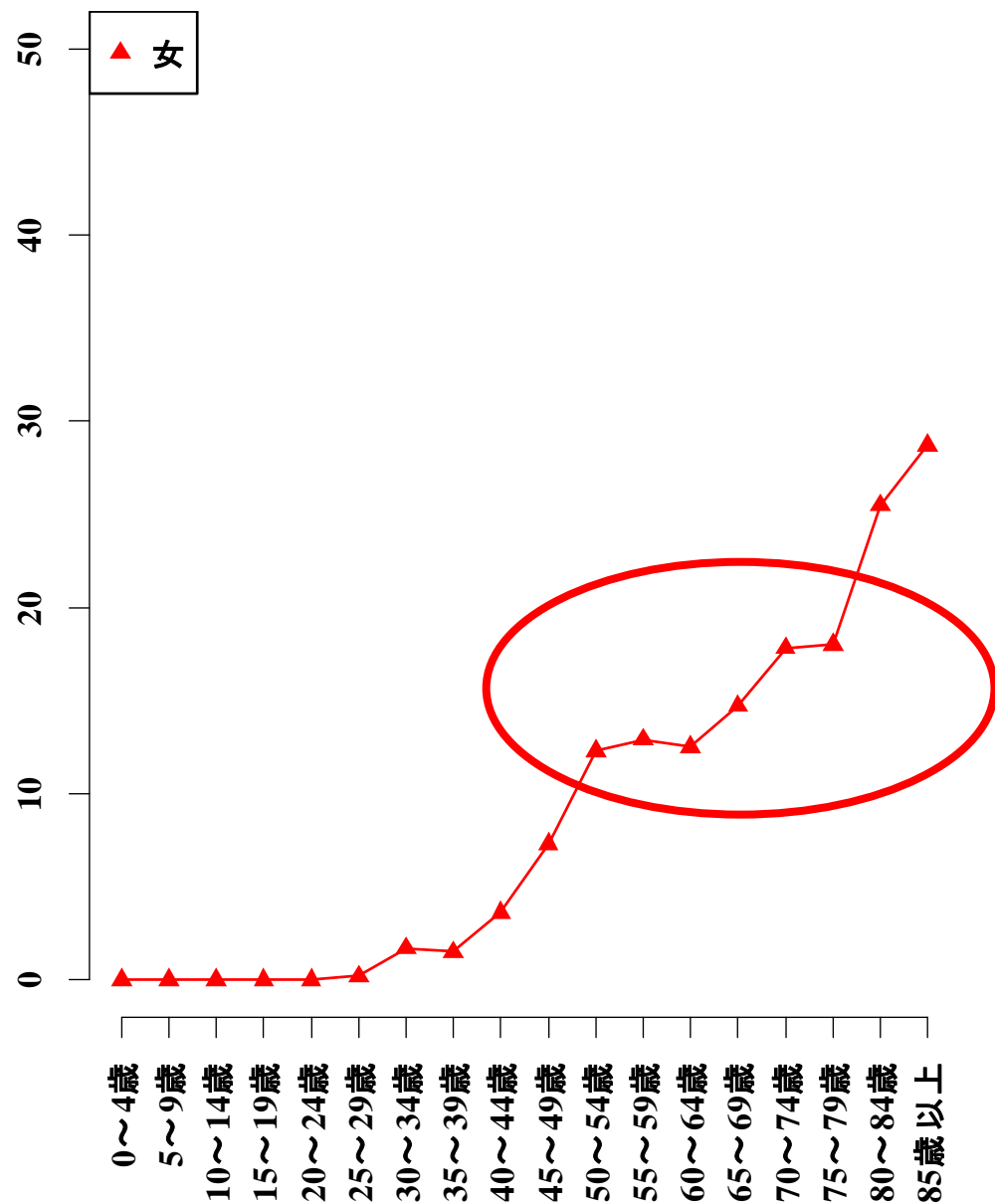


2013年年齡階級別死亡率:人口10万对(乳房/子宮)

乳房



子宮



部位別がん年齢調整死亡率：人口10万対 (全国値との比較)

男性
東京都 174.8
全国 172.5

女性
東京都 91.1
全国 89.7

0 10 20 30 40 50

0 10 20 30 40 50

■ 東京都
■ 日本全国

■ 東京都
■ 日本全国

